

# 水 泳

## 目 次

### 立大水泳部

比島遠征記……………齊藤巍洋…(1)

### 「國民皆泳」運動を

回顧して要望に應ふ…内藤徹…(9)

希望と抱負……………(各大學選手)…(10)

### 昭和十五年度クラス選手

詮衡決定發表……………(記録委員會)…(16)

女子水泳競技講習會……………(20)

海外水泳情報……………小山賢之助…(21)

指定席發賣に就て……………(25)

戦争と水泳……………(26)

定例代議員會議事録……………(28)

常務理事會議事録……………(29)

故石本巳四雄教授記念出版會……………(31)

日本水上競技聯盟日誌……………(32)

# 昭和十六年度水上競技日程 (豫定)

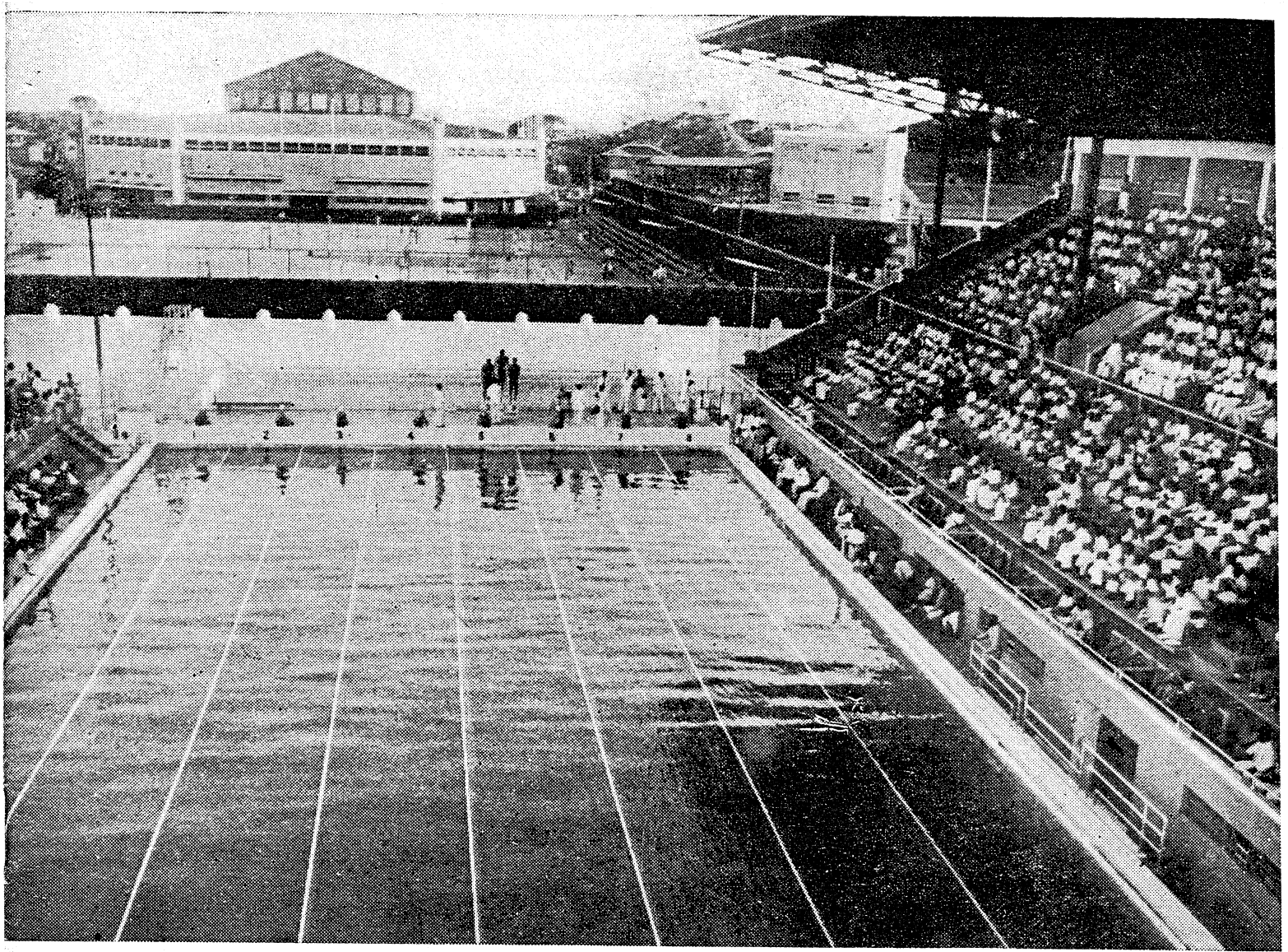
(日本水上競技聯盟)

- 自五月十七日至六月廿二日頃……關東學生水球リーグ戦……………(神 宮)
- 六月八日……………早慶對抗水上競技大會……………(神 宮)
- 六月十五日……………日、立、明三大學對抗水上競技大會……………(神 宮)
- 六月中旬……………早、關對抗水上競技大會……………
- 同……………日、立、明、關大對抗水上競技大會……………
- 六月廿二日……………東京、横濱、八王子三市女子對抗水上競技大會…(神 宮)
- 七月十六、十七日……………東部高商水上競技大會……………
- 七月廿七日……………明治神宮海洋競技團體長距離競泳大會……………
- 七月廿七日……………關東女子中等學校水上競技大會……………(神 宮)
- 八月一日……………關東選手權水上競技大會……………(神 宮)
- 八月二日、三日……………東部、中部、西部中等學校水上競技大會…(神宮、甲子園、大濠)
- 八月四日……………全國師範學校水上競技大會……………(神 宮)
- 八月七、八日……………日本中等學校水上競技大會……………(神 宮)
- 八月九、十日……………日本女子中等學校水上競技大會……………(神 宮)
- 八月十日(午前)……………第四回<sup>國民</sup><sub>皆泳</sub>全國學童水泳大會……………
- 八月十日迄……………日本選手權各地豫選會……………
- 八月十六、十七、十八日…日本選手權水上競技大會……………(神 宮)
- 八月廿四日……………獨逸選手招待會……………(大 阪)
- 九月五日……………東京小學校水泳大會……………(神 宮)
- 九月六、七日……………關東、關西、東海、學生水上競技大會…(神宮、甲子園、振甫)
- 九月十二、十三、十四日…日本學生選手權水上競技大會……………(神 宮)
- 九月廿、廿一、廿二、廿三日…第十二回明治神宮國民體育大會水上競技大會…(神 宮)

尙神宮競技會中に下記競技會をも含めて行ふ豫定なり

- 第四回全國實業團選手權水上競技大會
- 全國小學校教員水上競技大會
- 青年團府縣對抗水上競技大會
- 海軍三鎮守府對抗水上競技大會

關東學生水球トーナメント戦(神宮大會に含めて行ふ)



### リザール競技場の完備

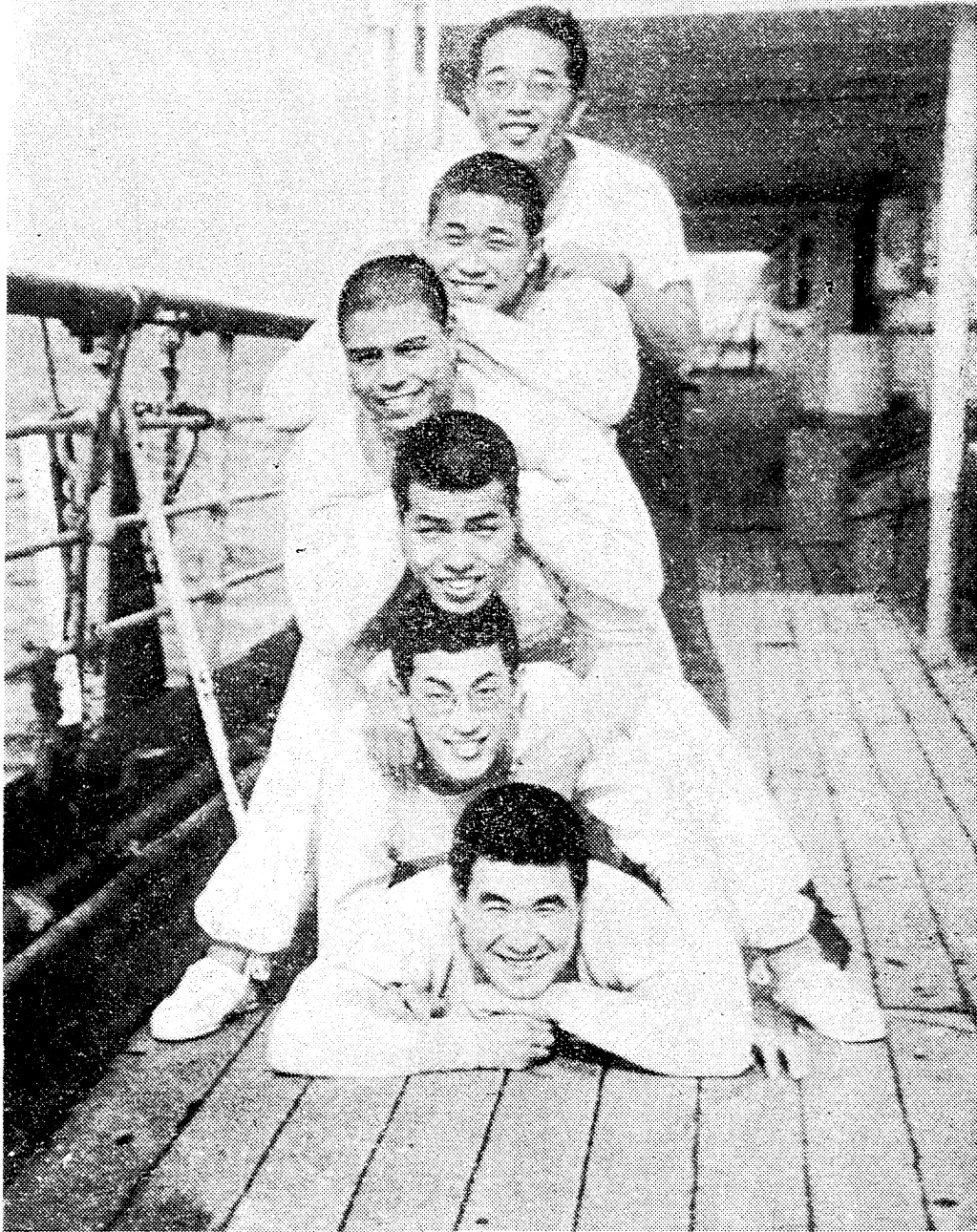
(プール、テニスコート、室内競技場と並ぶ。プールでは全比島水上競技100米自由形表彰式が行はれてゐる)

---

## 立教大學水泳部全比島遠征記念

---

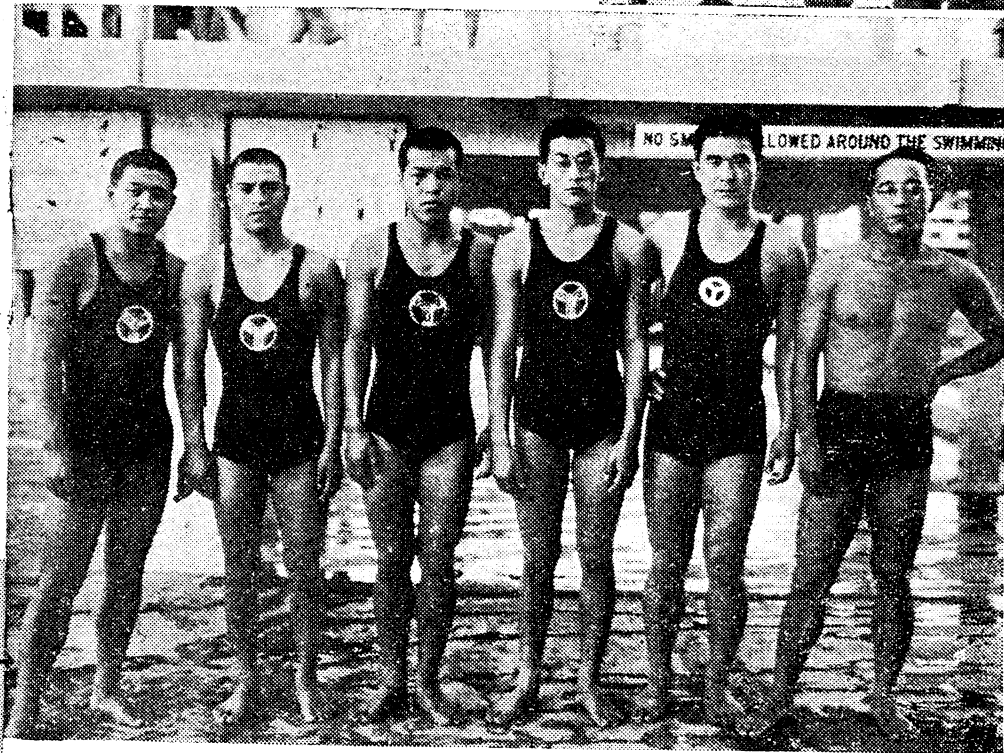
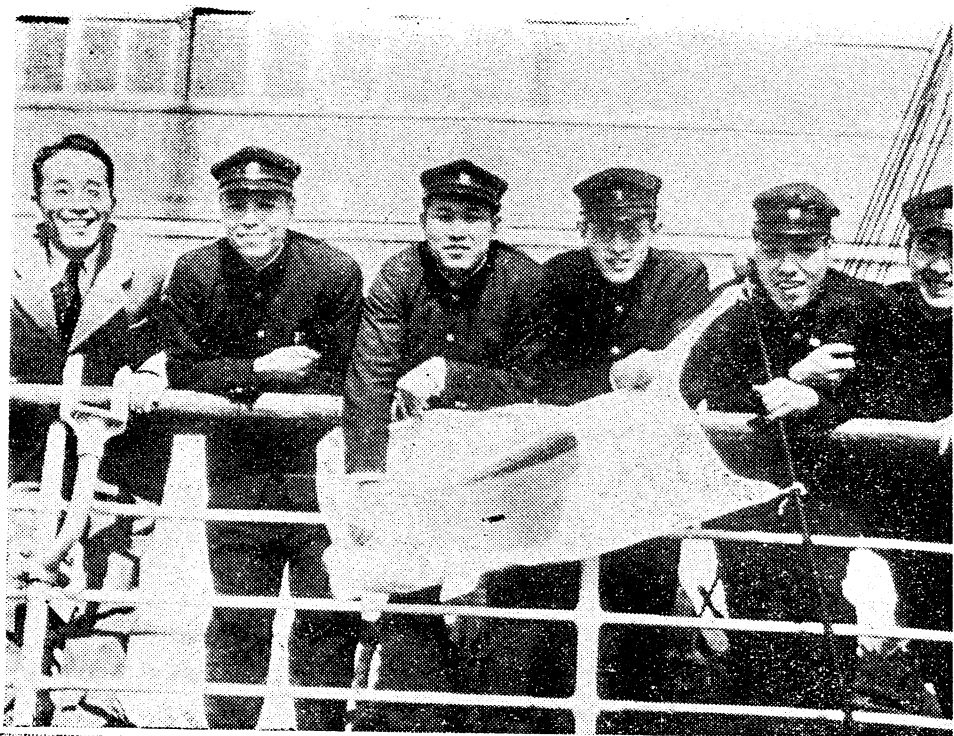
熱田丸船上  
早々炎熱下の洋上にて陸上練習開始



熱田丸船上の練習

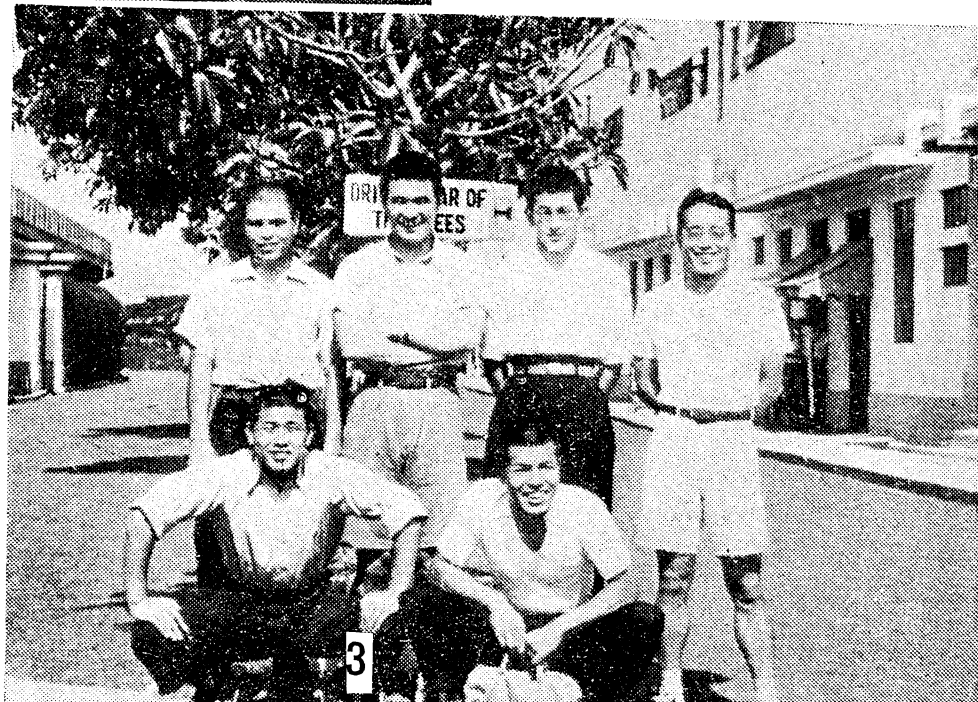


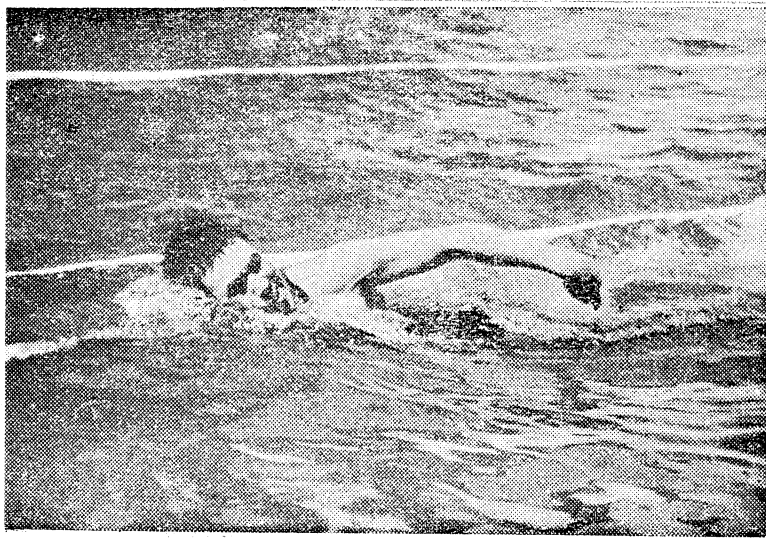
征途につく一行  
 (左から齋藤監督、大浦、  
 本間、平賀、本川、新井)



リザール競技場にて

練習に向ふ





新 井 (100 m—58 秒)



木 田 (100 m—60 秒 2)

## 立大水泳部比島遠征記

監 督 齋 藤 巍 洋

立大水泳部選手が比島體協よりの招聘をうけ昭和十五年十二月二十二日神戸出港の熱田丸で征途につき、一月二日マニラ港に上陸、比島選手権、その他の模範競技には四回約二十日間ばかり滞在、一月三十日神戸入港の賀茂丸で歸國したが、此度の遠征で僕達の得たものは何か、これが最大の眼目である。

選手團として先づ第一に望みたいことは、技術の收獲だ記録的に遠征の跡をたどつて見ることにする、出發前神田 Y M C A、及府立第六高等女學校の好意により、練習場に恵まれない現在としては、先づ想像以上の練習が出来た、約十五日足らずだったが、

十二月廿一日の甲子園での記録會には短水路ではあるが、左の如き記録を得た。

|       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 二百米平泳 | 大浦誠一郎 | 2 分 39 秒 4 |
| 四百米   | 本間 俊夫 | 5 分 2 秒 4  |
| 百米    | 新井 茂雄 | 59 秒       |
|       | 木田 武次 | 61 秒       |

本 間 (400 m—4 分 58 秒 5)  
(1500 m—19 分 57 秒 5)

百米背泳 平賀 孟 1 分 10 秒

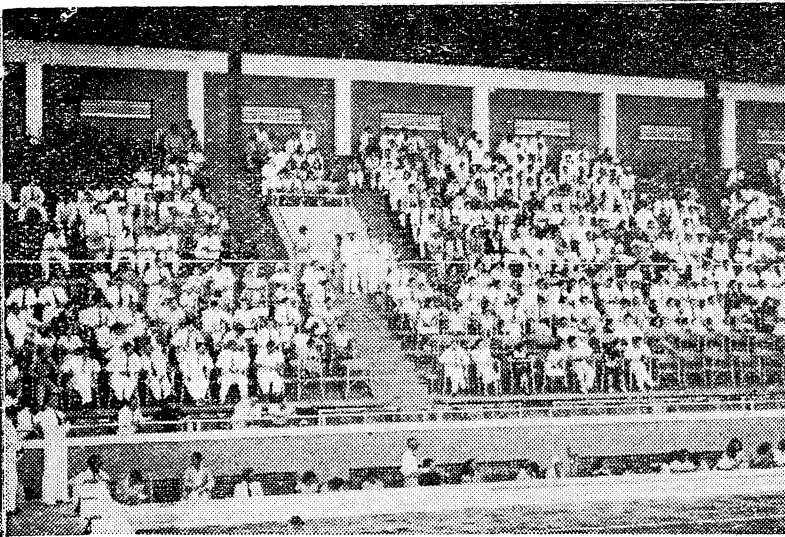
右の結果各選手とも曲りなりにも、水には乗れそうな體位だけは取り戻せたこの上は唯船上における準備體操で體力と氣力とを培ひ、日本精神で泳ぎ切るだけが頼みであつた。

門司、其他、長崎などと各地に寄港して行くが、初めての海外遠征にすつかり興奮してゐる選手もありまた船に弱い選手もあり、落ちつきもなかつたが、氣温が上昇するにつれ、漸く船中生活に慣れ初めた準備體操も本格化して行く、本格といふことも、午前午後三十分船上を走つたり、徒手體操、組合せ體操を行ふ程度だ、だが、これが選手の力となつて發揮することが出来るのだから、必要缺くべからざる課題の一つである。

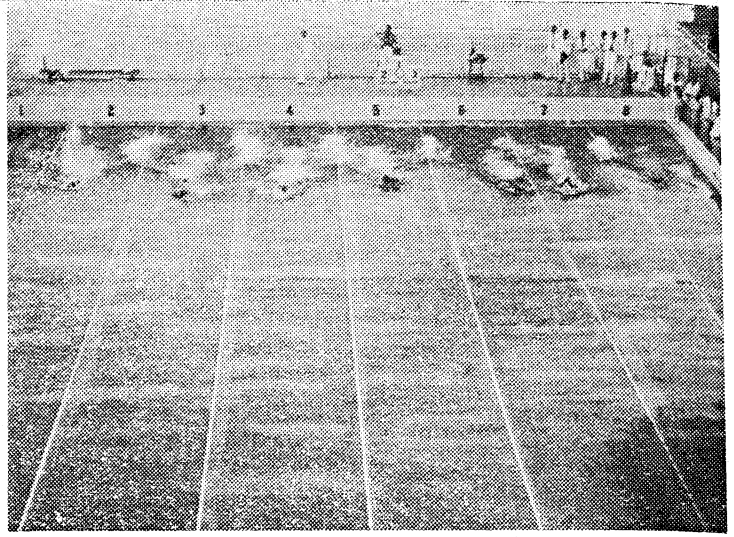
十二月卅日 香港に入港、要塞化した香港の港、市街などもバリケートなどが防備がされ、實に異様な風景だ、こゝに初めて日英の急迫を告げてゐる現状を見ることが出来た、だが、歐洲人 Y M C A で

大 浦 (200 m 平泳—2 分 45 秒)





比島選手権の観衆 (山内氏撮影)



100m 決勝 1  
(3 コース本田、4 新井 6. ラージャ)

は僕達に練習場を與へてくれた、早速記録を取る記録は遠征の唯一のバロメーターだ(二十五碼水路)

- 百米 新井 59 秒 5
- 〃 本田 61 秒 2
- 四百米 本間 5 分 0
- 百米背泳 平賀 1 分 10 秒 6
- 二百米平泳 大浦 2 分 43 秒 4

船上の生活もスピードに変化がなく、一同氣をよくする。

洋上で正月を迎へ、二日にはいよいよ目的地マニラ港に入港、東洋一を自負するだけに阜頭も可成り立派だつた、一行の係、同盟通信社の中屋氏、先輩の鈴木氏などに出迎へられて、日本人倶楽部に入る。

マニラの氣温は日中は三十一度、わが眞夏と同様程度だが、夜は二十一度前後に降る、水温は二十七度前後だ、最近はマニラとして絶好の恵まれた、シーズンだ、その上に日本人倶楽部は選手の宿泊に持つて來いの條件だ、日本食が第一氣に入るまた打ちくつろいだ、伸んびりした日常生活、リザール競技場へは徒歩で五分、理想な合宿生活、プールはまた想像以上に完備したものだ、技術的に唯水底の線のないのが、難點だが練習場としては上々、また、體協の名譽主事イラナン博士、新納總領事、日本人俱

楽部山本會長以下よく一行の面倒を見てくれる。

最上の條件で練習を開始した、午前、午後二回の練習、水に慣れるべく、二千米も泳ぎ續けたらう、何しろ、南米遠征では二十五碼水路が多かつたが、こゝは長水路だから長水路で一日も早く調子を出さなければならぬのだから、少し無理だと思つたが一日の休養もなく、第二日目から本格的の練習に入る。打叩の練習よりも長い距離を泳ぎ續けることにした。

一月五日には早くも比島中等學校選手権の模範競技に参加した。

- 百米 新井 59 秒 3
- 本田 61 秒 2
- 二百米平泳 大浦 2 分 45 秒
- 四百米 本間 5 分 2 秒
- 百米背泳 平賀 1 分 12 秒 6

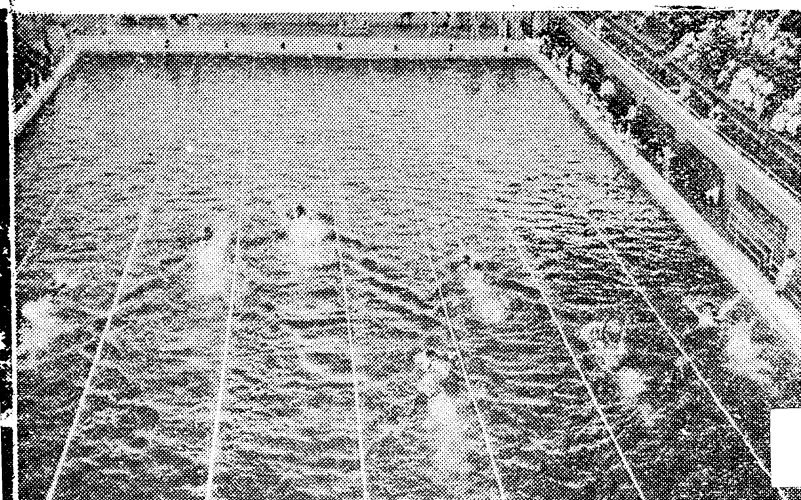
七日に各選手の記録會を行ふ

- 百米平泳 大浦 1 分 16 秒 4
- 百米背泳 平賀 1 分 15 秒
- 百米 新井 59 秒 2
- 本田 62 秒 4

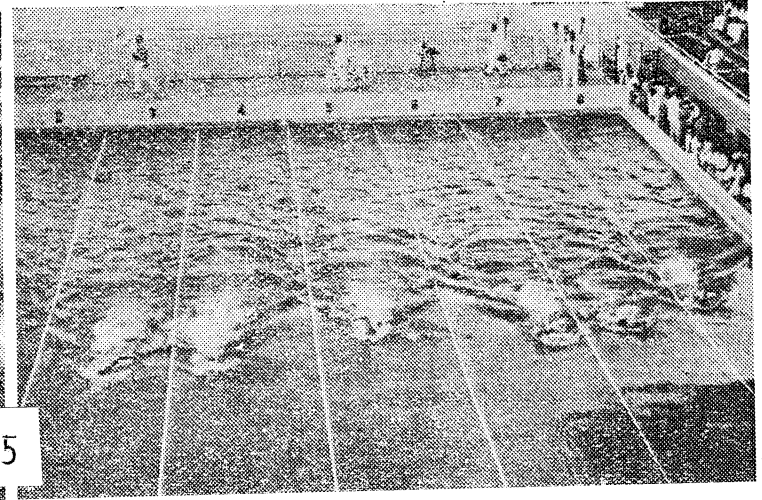
千五百米 本間 20 分 38 秒

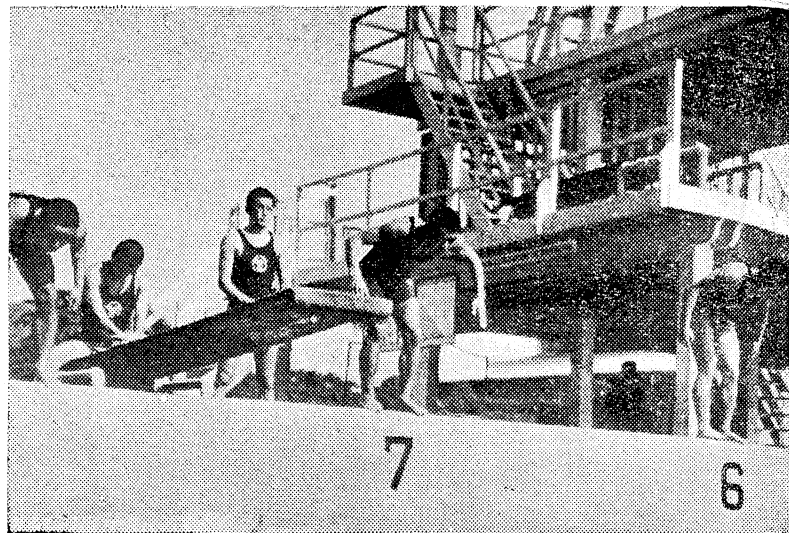
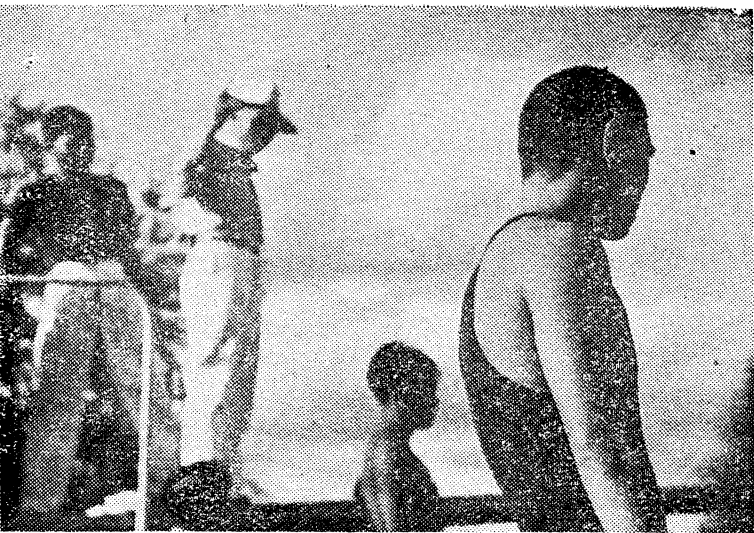
各選手とも漸く長水路コースに慣れ、九日からの

100m 決勝 (75m 邊) 3



100m 決勝 (25m 邊) 2





田舎廻り(スターターは飛込壁の上から発砲を發砲)練習及試合

比島選手権大會に出場す。

◇九日 (第一日)

千五百米豫選 本間 19 分 57 秒 5

◇十日 (第二日)

五十米豫選 新井 26 秒 5 ラージャ 27 秒 3

本田 27 秒 6

四百米豫選 本間 4 分 48 秒 5 ラリー 5 分 17 秒 4

百米背泳豫選 1 分 13 秒 1 ボーヌス 1 分 14 秒 7

百米平泳豫選 大浦 1 分 16 秒 マデイン 1 分 14 秒 9

二百米平泳豫選 大浦 2 分 54 秒 9 マデイン 2 分 53 秒 5

百米豫選 新井 59 秒 2 本田 1 分 1 秒 5 ラージャ 1 分 1 秒 3

◇十一日 (第三日決勝)

五十米 ①新井 26 秒 3 ②本田 26 秒 8 ③ラージャ

二百米背泳 ①平賀 2 分 43 秒 7 ②ボーヌス 2 分 49 秒 5

千五百米 ①本間 20 分 7 秒 2 ラリー 21 分 22 秒

百米平泳 ①大浦 1 分 16 秒 1 ②マデイン

1 分 16 秒 7

三百米混繼泳 ①立大 3 分 29 秒 7 ②ミンダナオ 3 分 29 秒 7

◇十二日 (最終日)

百米 ①新井 58 秒 5 ②本田 60 秒 2 ③ラージャ

百米背泳 ①平賀 1 分 13 秒 3 ②ウジャージ

四百米 ①本間 4 分 58 秒 2 ②ラリー

二百米平泳 ①大浦 2 分 46 秒 7 ②ボーヌス

八百米繼泳 ①立大(新井、本間、本田、平賀) 9 分 34 秒

[各チーム總得點] 立大 66 點 ②ミンダナオスルー 30 點 ③ N C A A 26 點 ④マニラ大學 10 點以下略

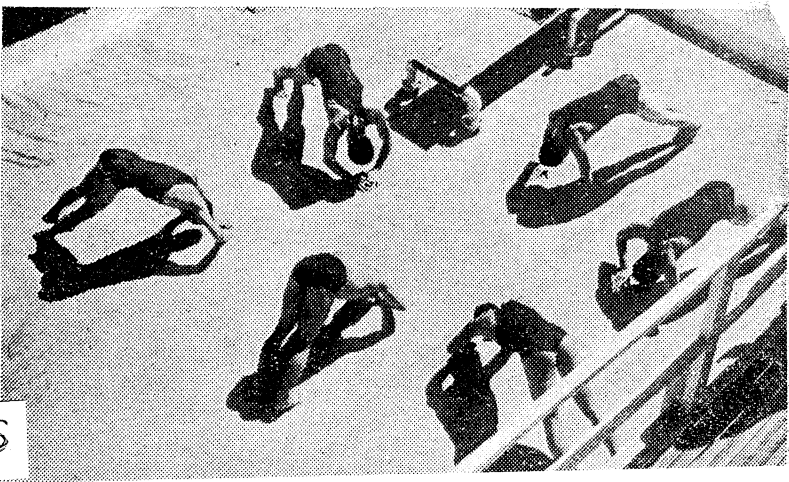
右の如く、比島選手権には立大が全勝、また、總得點にも斷然他を引き離して四一年度の比島選手権を獲得した。

各選手の前年度記録と今回並に比島國際記録と次に比較して見よう

| 百米  | 前年度    | 今日     | 比島              |
|-----|--------|--------|-----------------|
| 新井  | 58 秒 8 | 58 秒 5 | 59 秒 5<br>(佐々木) |
| 本田  | 60 秒 8 | 60 秒 2 |                 |
| 四百米 |        |        |                 |

陸上準備體操 1

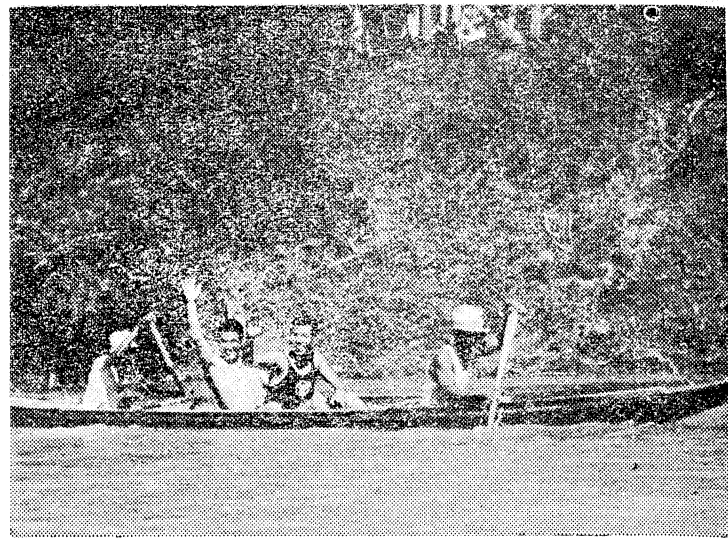
陸上準備體操 2







田舎廻り (體協の七人乗自動車で  
ルソン島を廻せ廻る)



バグサンプアンのカヌー降り

本間 4分54秒 4分58秒5 4分52秒7  
(新聞)

千五百米

本間 19分41秒8 19分57秒5 19分45秒2  
(牧野)

百米平泳

大浦 1分16秒 1分16秒 1分16秒  
(イルデフオンソ)

二百米平泳

大浦 2分43秒8 2分45秒 2分45秒7  
(葉室)

百米背泳

平賀 1分12秒6 1分13秒 1分9秒5  
(クリスチャンセン)

大浦、新井などは國際記録、即ち、極東大會などで作られた、日本遠征軍の記録を簡単に破ることが出来、百目を施すことが出来たこの結果技的に素晴らしい収穫を得た。

私達は準備練習期間に恵まれなかつた従つて長距離などでは恢復期間が不足であるが、二百米位までならば練習期間の如何にかゝらず、精神力と體力とを十二分に養ふ様に心かければ、自出のペースも容易に取り戻せるものである、また、長距離方面も

却々ペースを作ることは四日間位の練習、一回位のレースコースを引くだけでは、完全なペースを作ることが困難だが、準備練習さへ確つかり出来れば、この方面も至難ではないといふことなど今回の遠征によつてまたまた立證されたと思ふ。

× × ×

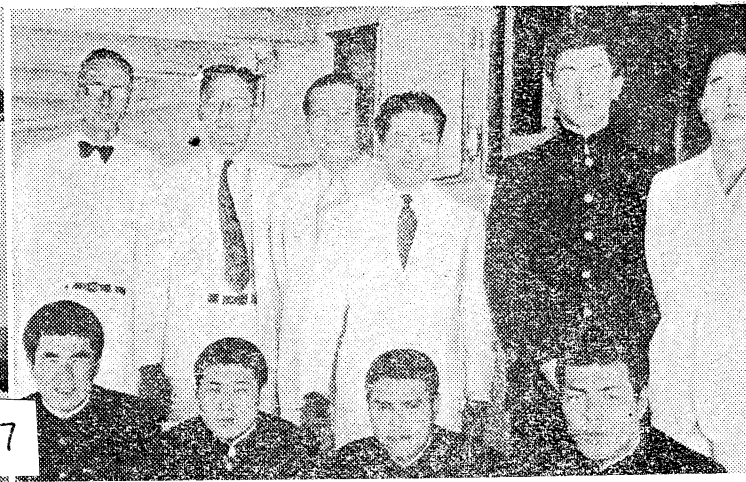
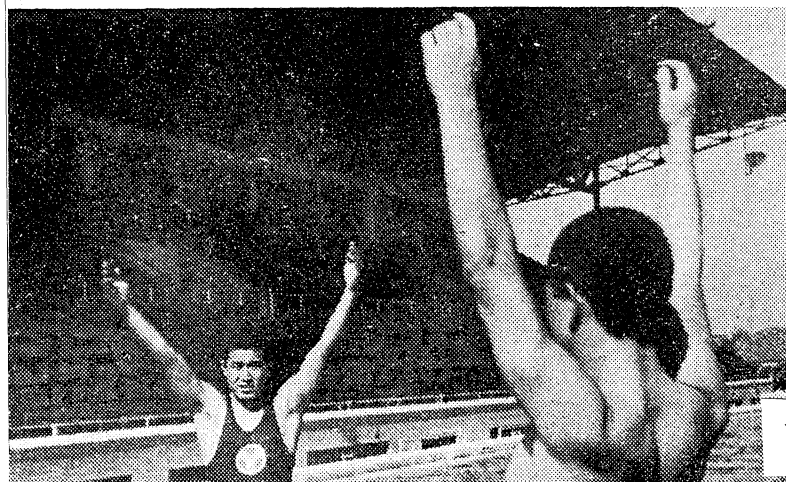
さて比島の競泳界はどんな風か、往年の名選手、日本から精鋭が遠征しても、いつも惱まされ、また日本選手も技術方面について學ぶことのあつた、平泳のイルデフオンソ、短距離のジキラムなど既に引退して、新進のみであつた。

またマニラを中心とした學生群が餘り奮はず、ミンダナオ、スルー地方のモロー族が主に活躍してゐた。

比島水泳界は水泳練習場の設備はまだ普及されてゐない、マニラ市に七ヶ所地方に數へる程しかない。指導者はマニラでは比島大學教授バルトロメ氏、女子ではイラン博士夫人などが熱心な研究者であり、毎日學生をバスで伴れて來ては練習を行つてゐた、地方はアツサード、アリなど日本になじみ深い選手が指導者となつて牛耳つてゐる。モローのマーチ・アリーなどは、遠征する度に、その邊の海に泳いでゐるのを寄せ集めて來る、「此度もマディン

體 操

比島體協イラン博士を中心に



など全く成正成の訓練を積んでおなかつたために、大浦君に敗けたが今少し厳格な練習をすれば日本選手恐るゝに足らず』と非常な氣焰だつた、また日本泳法の研究熱は非常なものでイラナン博士主催で講習會を開催して貰つたが、五十數名の指導者群が集まつて來た、そして、却々熱心に日本の泳法について歡心を持つてゐたことを識つて非常に愉快だつた。

日本では比島水泳界といへば今では問題にしてゐない、だが、これは比島で水泳熱が一般に普及されてゐないため、沈滞てるかに見えるが、百米平泳で大浦をゴール寸前までリードするマツデイン、また百米でも本田を追ひ詰めたラージャなど居り、普及程度から比較する時比島の水泳技術も決して劣つてゐるものでない。

日本としても常に世界水泳界の動きから目を離しては不可ない、とふことを痛感した、實際に見て、日本選手の平泳スタートにおける搔手の要領などはイルデ・フォンソから學んだものだつた、撥手のフィニッシュなど相當研究しつくされた様に思はれてゐる、だが、マデインなどは簡単にスタートで大浦を一體身も引き離してゐる、モロー族、即ち水中人の様な生活を續けて來た先天的の泳ぎを僕達が眞似てゐるんだから、その本尊が現れたのでは敗けるのも無理ではない、そふ云ふて終へばそれまでだが、一度、マデインなどが完全なペースを作る練習さへすれば可成りの驚威となることは事實だ、マデインの百米平泳でのペースを觀ると豫選には初三十米を潜行、重ねての潜行で五十米では 32 秒 8、潜行を繰り返して 1 分 14 秒 8 を得てゐる、大浦より一秒以上の差がある、これに氣をよくした同選手は決勝では更に潜行を増し一回目で四十米に達した完全に大浦を離してゐる、しかし、この最初のペースが苦しかつたために後半の潜行が思ふ様に行かない、結局タッチの差で大浦に凱歌があがつた、その上この選手などは海上のみで練習、プールなどでは始めてだとかである、この選手にしてこの貫録を持つてゐるのだ日本としても油斷がならないなぞといふことを忘れては不可ない。

大會終了後バグサンフアン港、インダン、ミュニオス、バギオ等景勝の地へ連日マニラから自働車を出掛け模範競技、見物などを行つた、地方での競技會ではバグサンフアンなどは河中で行ひ、スターターは實彈を空中に、ぶつ放して泳がせられ珍妙な競技

會もあつた、しかし到る所大觀迎、運動家のみが味ひ得るスリルを満喫することが出來て一同も満足だつた。

× × ×

歸途香港では Y M C A で盛大な模範競技會を開催してくれた、僕達の希望は英人の會員連と交驩競技をやるにあつたが、時局がらこれだけは僕達を敬遠されたことと思ふ、だが、日本總領事を始め英人士官など多數の見物があり、一同も懸命に泳ぐ  
従來の國際記録

|      |             |               |
|------|-------------|---------------|
| 百米   | 新井 53 秒 3   | 遊佐 53 秒 2     |
|      | 本田 53 秒 4   |               |
| 百五十碼 | 平賀 1 分 46 秒 | 河津 1 分 41 秒 4 |
| 二百碼  | 大浦 2 分 27 秒 | 小池 2 分 28 秒 2 |
| 百四十碼 | 本間 5 分 2 秒  | 牧野 4 分 58 秒 2 |

結



論

以上の如き成果を収めて比島遠征も完了した、いつも遠征する度に思ふことだが、遠征の第一條件は先づ競技會には水泳日本の名譽にかけても完勝することだ、在留邦人はこの事を切望してゐる、従つて、何れの國に遠征するにも萬全の策を樹てゝかゝらねば思はぬ不覺をとる、日本選手を招待する以上は、唯技術のみを學ぶとする國ばかりではない、自國の選手にもそれ相當の實力を持つてゐるからである。従つてその準備を忘れては不可、また遠征地のコンディションについても、十二分に研究してかゝらねばならない。氣候が悪い、食事が合はない、または待遇が思はしくない、練習期間が不足だから成績が上らなかつた、等々といふことは不成績の理由にはならない。何んな状態においても最高能力が發揮出來る様心がけねばならない。

幸ひ今回の遠征では各地で外務省關係在留邦人各位の理解ある援助を得て現下の國際情勢下に拘らず愉快的遠征生活を送る事が出來た事を心から感謝して居る。  
(終り、)

# 「國民皆泳運動」を回顧して要望に應ふ

小學校委員長 内 藤 徹

聯盟が高く掲ぐる所の國民皆泳運動も、普及事業へ第一歩を踏み出した年から數へると、既にもう十年になつた。指導普及部の大きな事業として昭和五年以來の水泳指導者講習會、六年以降の指導者資格檢定試験、翌七年に發表を見た標準泳法の制定等は、みな水泳指導者の養成を目的に、なされたものである事は勿論であるが、然もこれが「國民皆泳」の遠大なる理想への皆梯として、その基礎を築くために、着手されたものである事は言ふを俟たない。

この計畫の動機に對しては、今日でこそ誰一人疑ふ者もなく、又その業績の大きい事は、誰しもよく認めて居る所であるが、併し、その當初に於ては、世間一般には「水上聯盟が皆泳運動に乗り出したのだ」といふ事を、知つて居る者は恐らくなかつたであらう。然し我々聯盟關係者はピラミットを高く大きく築くには其底邊の基礎的廣さにあるのだと張切つて此國民皆泳運動に乗り出した。

その頃は恰度、水泳王國アメリカを如何にして降すべきか世界制覇果して成るかの最も興味を喚ぶ國際競技が、相繼いで行はれた時代であるから、國民の耳目が悉くその方へ集まり、その地味な普及事業へ關心が寄せられなかつたのも無理からぬ事であつた。又聯盟としては、この覇業達成の爲めに總力を擧げて一意精進してゐた最中の事である。かゝる競泳に世界制覇をととなへるべく第一線を強化する一方、内部にあつては地味に來るべき第一線に躍り出るべき泳者の教育指導即ち「國民皆泳」運動にも着々準備は進められて居たのだ。

此やうに普及事業は世人の知らぬ間に着手され、「國民皆泳」の基礎工事として著々と堅實に進められたのであつた。

續いて昭和七年秋には學童水泳の普及發達を目指して、東京を中心とする小學校の水泳聯盟の誕生を見たのであるがこの結成によつて、皆泳運動は愈々一步前進したといふ事が出來やう。爾來十年になるが極めて順調なる發展を遂げて今日あるを得たのは、全く指導普及部の鞭撻と指導のよろしかつた事と、水上聯盟が全面的によく之を援助されたが爲めであるといふ事を銘記して置かなければならない。

又一方に於て競泳陣の活躍は目覺しきものあり。殊に昭和七年夏、ロスアンゼルスに開催の第十回オリンピック大會へ參加した我が水上軍の活躍は正に歴史的なものであつた。その奮闘によつて待望の覇業が見事に完成されたからである。全世界の驚歎もさることながら、その時の日本國民の感激は如何ばかりであつたか。勝利の榮冠と共に水泳王國の名を堂々と米國から奪つて歸つた時の國民の感喜と感激は——この感激が齎した其後の影響は如何。これは日本水上競技聯盟の名譽であつたばかりではない。又水泳界の喜びに止まつたのでもない。實に日本人全體の喜びであり、誇りであつたのだ。その時我々の腦裏に何ものか深く刻まれたものを感じしめたのであるが、それは果して何であつたか。そしてその後には或る一種の自負したい氣持を起さしめるやうな快感が永く遺されて居た事を覚えるのであるが、それは日本人である以上、泳ぎを知ると知らざるとに拘らず誰しもが感じ味はつ

たことではなかつたらふか。それがやがて水泳への憧憬となり、水泳愛好へと變つて行くべき誘因をなしたのだといふ事を我々はよく認識しなければならないと思ふ。

兎角これが契機となつて國民の水泳に對する關心の度が急激に加はつたことは争はれぬ事實である。青少年の間に水泳熱の高まつたのはその頃からであつた全國にプールの増設が目立つて來たのもそれ以來のことである。

更に其後も日米對抗ベルリンのオリンピック大會等國際競技の行はるゝ都度選手諸君が非常によく奮闘し技術的にも優秀なる成績を示して國民に大きな影響を與へて居る事は喋々を要したがこれ等のよき刺激がみな水泳の普及に換言すれば國民皆泳の促進に、重要な役割を演じてゐるといふ事を考へると一層今後の活躍を期待し、これまでの貢獻に對しては衷心より感謝の意を表したいと思ふ次第である。

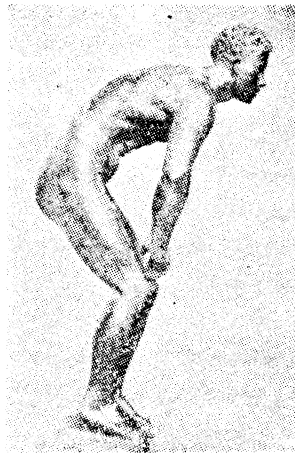
昭和十三年の夏以來行つてゐる全國學童水泳大會は國民皆泳を標榜する行事であつて漸次盛大に赴きつゝあるとはいふものゝ數字の上から見ると、未だしの感がなくもない。この劃期的行事をして眞に國家の一大行事たらしめんとするには周到なる準備等に就て尙研究の餘地もあり關係者が一體となつて當るにあらざれば到底目的は達し得られないといふことを痛感するものである。併しこの行事の齎す効果は豫想以上に大きいといふことに着目してこれが徹底方に就ては一段と努力しなければならぬと思ふ。即ちラヂオを通じて一號令の下に全國一齋に泳ぐといふところに意義と興味を存するのであるが、又參加者の幾百倍或は幾千倍かの國民大衆がラヂオによつて啓發されるといふ事も大きなねらひであつて、これを國民皆泳の目標の一大示威運動であるといふ見方にすれば一層意義は深まるし興味も加はると思ふ。

「國民皆泳」の實を擧げる最善の方法は小學校兒童を對象として例外なく全部に水泳を習はせることである。

實施を目前に控へた國民學校制は體位の向上が國力の發展に至大の關係を有することに着目して、體育を重視し從來の體操を體鍊科と改めて其の教材の内容を増加すると共に教授時數も倍加したのである。この事は誠に結構である。併し教材中に水泳に關する事項の明示されてゐない事は誠に遺憾に堪へない。水泳の持つ教育的意義に就て異論のある筈もないのに而も一方に海洋精神の昂揚と言ひ、大東亞の建設を叫ぶそれは水に親しみ水を恐れぬ習慣即ち水泳を習ふことが絶対に必要である事を知らなければならぬ。國民皆泳主義が國策に添ふ所以をもつてしつかり認識して貰ひたいと思ふ次第である。

國民皆泳運動の促進強化に關する眞摯な要望として、關係當局を鞭撻する事項、指導者側に對し反省を求むる問題、或は輿論に訴へて機運を醸す爲めの要求等諸問題が全國の識者からも集つて居るのである。これ等を一々紹介してお應へしたいのであるが紙面の都合からその部分は次號へ廻すことにして茲には、皆泳運動の十年間を回顧するに止めたいと思ふ。諒とされたい。(三・一二)……つゞく

# 希望と



# 抱負

昭和十六年度シ

ーズンを迎へるに當りて

早大水泳部 宮本 茂

最近我が國水泳界不振の原因を考ふる時、唯しも十二回オリンピック大會中止が問題となるに氣付くであらう。苟も心ある人其れをもつて第一原因とするならば此れに代るべき方策として國際大會の開催を考慮しなければならない。

## 1 希望、抱負

- (1) 日獨伊樞軸水泳關係の緊密化
- (2) 東亞共榮圈諸國との水泳關係を密接ならしめ、指導普及向上を期す事
- (3) ハワイ二世邦人招聘、遠征問題を實現さす事
- (4) 神宮夏期海洋大會參加問題に關して、全日本選手權大會を中止するといふが如き案があるならば其れを反撃する事  
競技場に於ての競技のみならず海洋へも、湖沼へも乗り出し征服する訓練が必要だと思ひます。海、風を恐れず、潮流河を知りてこそ初めて水泳精神を知り、競技者たるの資格を有する事になると信じます。以上、

右四點は熟慮斷行されん事をお願い致します

- (5) 中距離に於て泳法並に、記録の世界的進出、發展を期し努力する事。

## 2 冬期間の運動、シーズンに對する準備。

### (1) 冬期間の運動

10月より約2ヶ月半團體精神を一層高揚、養成する爲、全員ラグビー練習を行つております。

### (2) シーズンに對する準備

待つあるの心を持つて常に體理といふ事に注意しております。

自分の泳法に於て、腕(肩)に重點があると信ずる爲毎日陸上にて四五百回ストロークの練習を行つてゐます。

早大水泳部 大林 嗣生

## 1. 昭和十六年……抱負

本年の抱負と云つても、部の進む方向が常に私の進路であると信じて居りますから、先づ部の進路に就いて述べて見たいと思ひます。

我々は昨年小野主將より與へられた指導方針である——文武兩道を追ふべし——即ち優秀選手たるべき前に優秀學徒たるべしとの言葉を守り進みたいと思つて居ります。又水泳を通じ國家に何者をか寄與せんとする心——その心持で進みたいと思つて居ります。

## 2. 冬期間に於ける水泳以外の運動

我部に於ては冬期練習としてラグビーを行つて居ります。併しこれも昨年末で終り、冬期は専ら勉強を第一義とされて居ます。

## 希望

早大水泳部 中野 太郎

意義深き、紀元2600年を送り、1の年紀元2601年を迎へ聖戰以來益々多事多難なる時我々の進む道も多難なりと云はねばならない。此の時に當り我々は今迄より尙、意義ある水泳生活を送るべきである第二次大戰の餘波を受けたオリンピックの流産により昨今レベルが下つた等と云ふ一般の輿論をくつがへすべく、又、如何に我々が感情の動物として扱はれてゐるかを知る時、我々學生スポーツの崇なる目的を知らしめねばならない。スポーツを通じてなされる

意義深き仕事は多々あり得べきである。スポーツそれ自身が目的であつてはならない。しかも今日の時代に於てそれを痛感せざるを得ない何處までも學生スポーツを冒瀆する事なく、目的のために敢闘したい。自分は今最後になるやも知れぬシーズンを目前に控へ、限りなき希望と闘志に満ちて、來るべきシーズンへ精進してゐる。

### 早大水泳部 杉田 芳郎

茲に皇紀 2601 年、顧みれば日本國家の淵源は洵に悠遠にして更に行手を望めば無窮にして天壤に連る、國民として無限の感懐なきを得ない。

今や世界は曠古未曾有の大轉換期に際會し、皇國の前途愈々多難なるを想はせる、此の昭和十六年我々は水泳スポーツを通じて健全なる精神と肉體力を養ひ、一旦緩急あれば義勇を奮つて國に報いる覺悟と、此の世界情勢復雜なる時、我水泳界の發展と、他國水泳界をリードすると共に、又母校の名譽の爲めに奮闘を約すものです。

× × × × ×

冬期間に於ける運動としては、早稻田大學水泳部は毎朝七時當番の打鳴らす鐘の音に飛起き合宿前にて全員霜を踏みつけながら新鮮な空氣を吸ひ、リーダーの號令に依つて體操を行ひます、午後より團體運動のラグビーを主として行つて居ます。

商業の時には毎日體操を行ひ、そして二里ばかり走り、それからゴムを釘に掛けそのゴムを手に持ち速泳の型をしてゴムを引くつまりゴムを引く事に依つて腕に力をつけるのです。今はエキスパンダーを少し引いて居ります。

### 日本大學水泳部 葉室 織夫

昭和十六年度に對する希望は、私の水泳生活の最後でもあり、大に頑張りたいとは思つてゐるが、學業を終つて社會人となつた場合、競泳選手として、充分なる練習と、練習を成し得る環境に恵まれなければ、學生選手に伍して活躍して行くことは非常に困難なことである。

此の點現在OB選手として居られる遊佐選手の努力と天分には感心させられるが、さて今度はいよいよ自分でやらなければならないとなると、仲々困難が多い。

先づ東京に居て、練習も充分爲し得るとしても、

二百米に全力を盡さねばならぬとすれば、昨年盲腸の手術をして體力が弱つてゐる時自分自身で大體満足出来る程度の練習で、二分四十三秒四と云ふ記録を得たから、今年も努力すれば、二分四十五秒の記録は望めるかも知れないと思ふ。

獨逸選手の來朝が傳へられる所から、出来るだけの努力を盡したいと思つてゐる。

日本では學校を出てからの競技生活は、その社會狀態から多くの困難がある。殊に不斷の練習と努力を必要とする競泳に取つて益々困難を感じる。私は競泳よりも、水球のOBチームを作つてやつてみたいと思つてゐる、水球ならば相當年取つても技術さへあれば、體力がある程度補つてゆけるし、學生選手の様子に改られた年限の内にチームを作らずとも長年同じメンバーでやつて行けると云ふ特點もある。

更に趣味としての水泳之は現役を離れて、競技としてではなく、水泳を楽しむと云ふ意味に於て、日本泳法を習ふとか、水球をやつて楽しむとか、飛込を選手に付いて、ゆつくり基礎的な飛込を習つてみやうと思つてゐる。飛込は昨年全日本選手權後手ほどきを受けて、大分面白味を憶えて、今年は、何種目飛べる様になるかと楽しみにしてゐる。

× × ×

冬期の練習としては、毎年YMCAに通つて、體操バスケットボール、などをやつた後プールに入つてゐたので、今でも同じ様にやつてゐる。又朝體操なども戸外でやつてゐたが今シーズンに對して、別に大きな目標も持てないので、今は餘りやつてはゐない。然し暇があつたら、近所を走り廻つたりして運動する様心掛けてゐる。

YMCAに通つてゐるのも、今では來るべきシーズンに備へると云ふ意味よりも、規則正しく毎日通つて、體の調子を良くし自分の生活を規則正しく健全な娛樂を楽しむ、と云ふ意味でやつてゐる。

### 日本大學水泳部 天野 富勝

昭和十六年の抱負又希望について命ぜられる儘に拙い文を書く次第です。抱負といつて、何から書いて良いやら自分としては澤山有る、昨年は終りに休んだ、自分としては、甚だ遺憾の極である。インターカレッジに於て惜敗したのも自分の爲めであると思へば何んとも云い様のない氣分になる。

今年こそは一意専心入學當時の氣分になつて新し

き第一歩を踏み出すのだ、今迄の事を又記録を忘れて新人としての氣概で頑張るのだ、只だ練習有るのみである。三度の食事よりも泳ぐ事である。そうして皆んな他校の強敵と五角に闘ふ事が出来る様に、不甲斐なき心を勵ましてやる事だ。

さうすれば又記録も出来ようぞ。今自分の抱負と希望の第一は以上である。此の氣概で行けば、此の意氣で突進すれば萬事OKだ「云ふは易し行ふのは難し」の例があるが何處迄出来るか人間死んだ氣持ちで頑張れば出来ない事はないと思ふ。

そして、入學して来る新人と共に笑ひながら頑張りに通して日大長距離陣を泰山の安きに置く事である。

世界狀勢が混沌として居るので、大きな試合はないが、此の位いの事で自分の心をゆるめたりしては駄目だ我國の試合が第一だ只だ氣分一つだ。

愈々紀元二千六百一年も二月に入り冬季練習も初まつた。

自分の冬期間の練習外の運動練習期の運動即ち、陸上に於ける運動主に體操は自分一人でやる時に於ても皆んなでやる時でも柳田先生より教はつた體操をやつて居る。

其の外只だ僕は、各關節の運動と云つては莫然として居るが、指を折つたり、足の筋肉をもんだりして居る。それと縄跳びである汗が出る迄やる。其の位いである。

## 日本大學水泳部員 津田國男

私が此の紙上に愚筆を走らして戴きます事は誠に光榮の致りで御座居ますが、然し私が抱負とか希望とか又冬期練習と云ふ様な重大なる問題に對しては餘りに未熟な私には申上る事は出来ません。併し私の現在になる迄の經歷を皆様に御恥しいとは思ひますが少しばかり述べさせて戴きます。

私が中外商業に入學致しまして水泳部に籍を置き正式に水泳と云うものを習つたのです。其の當時は我が水泳部は非常に微々たるもので水泳部員は十二三人で練習と云ふ練習はせず、唯甲子園室内プールに體を洗に行く程度であつたのです。所が當時、私には兵庫縣で行はれます神戸市民大會縣下中等全日本豫選會等に出場するだけが大なる希望でした。

我々の水泳部も試合に近づくと共に神戸で合宿練習をなし試合場にのぞんだのですが試合と云うもの

が普通よりも苦しく且つらい思ひを抱き入賞する所か落選の憂目を見るなど悲惨そのものであります。

私は此れでも水泳をしているのかと思うと慚愧の涙に暮れたのです。此々に於て餘りにも貧弱な實力に對して水泳生活を放棄しようといふ決心した私が私をかくたらしめた、一つのエピソードを申上ますならば。其れは二年生の夏の事でありました兄の進めにも反對して試合出場を嫌つたのですが試合がある朝兄が食事の時に縮緬雜魚の中から龍ノ落子を見出したのです、兄は『此れは縁起が良い必ず勝つ』と云う、だまされ半分に出場致しました所が千五百米四百米共に決勝に入賞する事が出来ました。其の時の賞品がなんとそれが龍ノ落子に依つて刻まれた銅メダルではありませんか、私は此の時程嬉しく且兄に對して感謝の念を持つた事はありませんでした、又龍ノ落子に幾度か頭を下げた事でしょう、現在でも龍ノ落子は私の大切な大切なマスコットです、扱話を變へまして其れからの私は生れ替つた如く練習に勵みましたが再び私を悲惨な境遇に落し入れたのです。其れは光輝ある我が水泳部の解散であります。水泳部解散と同じに私も水泳生活が此の世の別れとばかりに悲しみましたが『親はなくとも子は育つ』の諺の如く自分自身で水泳に對して刻苦勉勵致したのです。然し私は此れらの不遇に打克べく努力し勵みました。又私の望みは全日本選手權大會一つあるのみでした。私も遂に學窓を終へ色々の關係から大阪十合百貨店に入社する事になりました。愈々私の水泳生活の本舞臺が訪れたわけですが、理解ある方々を始め十合水泳部員の御懇意ある御指導の下に練摩される様な次第になつた譯であります。入社した夏は私自身にも思いもよらぬ好記録を出す事が出来ました。其れはわすれもしない全日本選手權大會に於てであります。そこで水泳部長諸先輩の御意見の下に私は榮ある日本大學に入學致す事になつたのです。私が傳統ある日本水泳部に入部してからは世界的な葉室主將谷口、佐々木、天野、諸先輩の御好意ある御指導の下に嚴格なる練習を勵みました。

× × ×

扱私の冬期練習と申しますと昨年と本年と二年しか致して居りませんですから此の冬期練習の効果と云う様な事を申上る事が出来ませんが私現在行つて居ります方法は朝六時半起床直に體操ランニングを行う午後は神田のYMCAに行き泳ぐ前に軽い準

備運動程度の事を致して居ります。此れが私に與へられたる冬期練習です。

「良く云はれます様に規則ある練習及び生活は蕾が花と咲く様な時が来るのです。」

私は此れを信じて居ります。

## 日大水泳部 栗原 徹

朝の陽ざしに春の氣配を感じシーズン近きを思ひ胸を高鳴らす事の再三ならざりし近頃私は光輝ある二千六百年代の第一年の大いなる抱負に感激の胸をふくらましてゐる。

思ふに私が水泳生活を初めてより早や十年の歳月を過て來た。其の間我が水泳界のために小なりともよしかれと儼と共に練習に試合に戦地の兵士達かくやと思はれる苦痛を精神的に肉體的に感じて來た。或るひは自己感傷に陥りて泣いた事も幾度あつたことか。

斯く泣けるだけ私は自分に満足に行く丈頑張つた、然し身生れての小才のために我が水泳史に飾るべき何ものも一つだに持たぬ有様何一つ盡せし記憶なき自分の不甲斐なきに唯々涙するのみである。

然し私は諦めない。私は「彼も人なり我も人なり」と云ふ諺を知つてゐる。今迄輩出せし數多くの選手も私と別に變つた體を持つてゐたわけではあるまい然るに私が彼達の域に到達し得ないのは何か、其處に何か人爲的に異つたものがあるのではないか、練習か、日常生活か精神生活か、何か違つたものがあるに相異なる、幸にして私は二三の名選手と居を同じくすること數年、此の間彼等の生活振りを見るに實に驚く程無駄がない。科學的である頭である。人間或る程度迄は皆同じにのびるものである。其の先は頭である。科學的行動である。無駄のない生活である。之が神秘的に泳ぎに作用し所要時間の上に表はられて來るのであらう。

此の點に就いて私は自分自身に留意すると共に母校水泳部の最高部の責任者として後輩の指導にあたりたいと思つてゐる。

若き生命もて頑張る新人達が其の入學當初には二三年間に於て超人的刮目的な記録を残す例は少なくない。然しそれが永續きしない。若きからも肉體的からも續きそうなのに駄目になつてしまふことが多い、名選手の域に達し得ないのである。名選手に育て行く先輩の勞苦たるや實に大なるものがある。

私の廻りには若い有望な選手達が多く居る、此れを育てるべき責任者としての私は己れを人格とそして熱と意氣とを以つて此の指導にあたる覺悟である。

數年後に活躍する彼等の名選手振りを樂しみにして其の側ら私が輝かしき日本水泳史に残すべきものを求めて最後の努力に邁進するのである。

## 日本大學水泳部 牧野 兵庫

### (抱負) 希望

戰春の昭和 16 年を迎へ、氣分新た。

時代は替つて全てのものは新體制である。運動界も新體制に沿ひ、毎日の新聞には色々な事を批評し、記載してゐる。公の新體制は即ち私から始るのである。私は新たな年を迎へたのを機會に、今まで持ち續けた運動の氣魄を以て聖戰下の青年として恥しくない選手になりたいと思つてゐる。今までの競技は個人的に重きを置いてゐたが、段々團體的になり特に皆が泳げる様にと國民皆泳が叫ばれ、まことに嬉ばしいと思つてゐる。此の際我々が皆の指導者となり、最上に普及させたいと思つてゐる。

私は醫學生であるが、昔からよく云ふ『醫學をやると運動選手はやつて行けない』と。私の言はんと欲するのは即ち出来る限りの努力を以て醫學修學は勿論の事、運動界の選手として今までよりも堂々たる選手になりたいと思ふ。昨年経験から顧ると學校へ通つてゐる關係上、練習期に入つても皆の者よりも半分程の練習しか出来なかつたので、試合前になると自信が充分でなく、相當あがつて失敗に終つた時が屢々あつた。今年はよりよき練習法と節制を重んじ昨年よりも成績の向上を計り、現今の日大水泳部の責任の重大さを感じそれを全うしたい心算である。

### 準備運動

他の運動と違つて水泳だけは嚴冬には出来ない。中學時代は南國とは言へ北には葛城山脈、南には靈峯高野山、其の峽間を縫つて流れる紀之川でよく若鮎と練習したものだつた。最も本格的な練習ではなく、只水に馴れると云ふ意味でやつてゐた。

都會でこそ室内プールの設備があり、自由に利用練習も出来るので良いが今の様に忙しい内は氣が躍つてゐても實際出来ない場合が多いので残念でならない。そこで入浴後體操(水泳體操)をやつてゐる春休みにもなれば繩飛とか籠球もやる心算であるが

今では體操だけしか出来ない。昨年末は拳闘をやつてゐたのですが筋肉が硬くなるので中斷しました。

別に之と云ふ準備運動でなく、3月に入れば水泳半分體操半分。4月に入れば冷たい水に入り日が重なるに連れて段々きつく練習して行きたいと思つてゐる。

### 日本大學水泳部 吉村 喜代造

#### 抱負

彌榮の皇國第二十七世紀の初年の輝やかしき、2601年を迎へて吾等は水泳の持つ使命の重大さを今更ながら痛感す。顧り見れば過去一年間に於ける自分の戦績は記録の向上はあるけれども、戦に於て完敗に來してゐると云つて過言ではなからう、我は、試合毎に自己の練習不足を歎いた。

日本が東洋民族の永遠の平和を確立するために大東亞新秩序の建設に邁進しつつあるの秋、吾々は吾々の自我をおさへて、只管勉學に勵み、戦線にあつて奮闘される先輩諸氏に代つて、又諸氏の残しおかれた戦績を汚さぬ様に努力しなければならぬ、新しいシーズンが近づくにつれて、自己の心の中に立てた覺悟のなぞが何時となく解けて、途中で挫折して來た。自己の不甲斐なさを恥ず。

今や新世紀その出發、新しき世の中が建設されつつある眞たゞ中にあつて、學生と云へども、自己の身體であつて、自己自身のものではなく、國に捧げたものである事を自覺して、吾等の務めたる務學とそして、練習を自己に興へられたる使命として、體育奉公の實踐に強き足跡を踏みしめて行こう。

東亞共榮圏の確立に邁進する日本の姿を世界が注視の眼でながめてゐると同様に、この超非常時を脊負つて立て行こうとする青年の姿をも凝視してゐるのである。健全なる身體を有し、勇氣と斷行力に富んだ青年を、今日の日本が要求してゐるのである。

吾々も水泳人として、水泳と云ふ一つの小さい立場ではあるけれども、その完成に勵んでゐるのである。

それは新しき記録へ、挑戦する眞摯敢闘の精神に依つてのみ、作り得られるのではなからうか。

そして日本の銃後の青年の力強さを全世界に知らしめようではないか。

### 慶應義塾大學水泳部 片山 崇

「昭和16年度新シーズンを迎へるにあり」

毎年の如く今こそ!! とは思ひながら新シーズンを迎へるのですがシーズンが終つて一年中の事を振り返つて見る時いつも後悔に似たもの感じます。

でも今年こそ新體制の學生選手らしく大いにモリモリと頑張つて悔いぬシーズンを送らうと思つて居ります。

冬期間の運動としては、我々競泳の者はバスケットボールを、水球の者はラグビーをやつておりますが、團體的精神の充實と冬期間の體ならしとして非常に良いと思つております。

亦水泳シーズンに對する準備運動としては別に何もやつては居ませんが、日常生活の運動的な事に對して「水泳」と云ふ事を(自分勝手な判斷で専門的には?)考へて行動しております。

### 慶應義塾大學水泳部 岩崎 久米郎

#### 昭和十六年 希望 抱負

體力を十分に強くする事は僕の本年度に對する希望の中最大なるものです。體力を強くすると言ふ事はとても大切だと言ふ事を百も承知で居ながら練習中はとかく技術の向上の方ばかりに氣を取られて體力を強くする事を忘れ勝ちになります。又試合前に體をこわし體力を低下さす事は我々としてとても恥だと思ひます。だから本年度は特に體力に氣をくばり度いと思つて居ります。

技術的には去年早慶戦の合宿練習よりとほざかつた結果幾ら練習をやつても體が浮いて來ないで随分苦しみました。それに鑑みその後インターカレッジの合宿練習の時は大いに脚力の練習をやりましてやつと體が少し浮く様になりました。之から見ますと今の僕にとつては脚力を一人前にする事が一番やるべき事だと思ひますので、本年度は大いに脚力練習をやらうと思つて居ります。

次に手足のバランスですが脚力がなく體が充分浮かぬ爲と持つて生れた不器用さ、感の悪さで手足が合はず随分ぎこちない思ひをしながら之迄泳いで來ました。そして之も昨年インターカレッジ合宿練習の時少し要領がのみ込めた様な氣がしましたあの調子を一層研究し本年度は一層自分の物にし度いものです。



又我々の練習生活は苦しい練習の中にも何とも言へぬ愉快さが生れて来る様なのをやらねばならぬと思ひます去年迄を振り返つて見ますとこの様な愉快的練習をやつた年は心よい印象となりありありと残つて居ますし又タイムも伸びて居ます。昨年度は僕は少し失敗しましたから本年度はうんと充實させやうと思つて居ます。

兎角大きな夢を描きつゝ今年は何等の事をしつかりやり遂げやうと思つて張切つてゐます。

### 冬季間に於ける水泳外の運動

冬季間に於て僕達が如何に自分の體に注意したかどうかは來年度の水泳成績に相當關係するのぢやないかと思ひます。とかく運動からとほざかり勝ちなこの冬間を僕は有効に過じ度いと思ひつゝとにかくうまく行きませんでした。冬季間に於ける運動も色々に聞くとところによりますといふものと悪いものとがあるそうですが僕は何でもいふからやらぬよりもいふと思ひ今日迄出来る丈色々な運動をやり機會ある度にやつて來ました、それ等が水泳にどう影響したかは明確に分りませんでしたか體力を少しでも低下させないで済むのでいふと思ひました。自分には冬季どんな運動をやつてもいふ様に思ひ今もそうして居ります。

## 明治大學水泳部 松山正一

皇紀 2600 年を夢の間に送り、此處に新なる皇紀 2601 年を迎へました事は全てに於て意義深き事であり、我々水泳者として一層認識を新にして時局、新體制の波に處して行かねばなりません。

私は大學に進んで一シーズンを去りまして色々中學時代とその趣を異にしてゐる事がはつきりしました、それは中學時代は練習なり、フォームなど全て部長、或はコーチ主任でありましたが大學に於ては自己の身體に合致したフォーム、練習を考案しなければ大成しない事です、過去の經驗を現在に生じて大學時代水泳の最後の仕上をしなければならぬと思つてゐます。

私は一番大事な「脚力」が人一倍弱いので「泳ぎ」に於て非常な不利を負つてゐます、小學生の時先生に「君の脚では決して強くない」とまで見られた位ですが、仲々努力致しますが、一朝一石には仲々強くなりません。まだまだ努力が不充分と思ひます、それに反して「腕力」は少々水がキヤツチ出來

ますが、これもまだまだ不完全だと思ひます。幾等「脚力」「腕力」の部分が強くつてもそれよりよき効果あらしめるのは「バランス」であり、此の状態如何に依つて試合の紅白が決せると言つても過言ではないと思ふ位です。本年は此等の不備なる個所を充分指導のもとに研究しまして完成近きものに到達しやうと思つてゐます。斯するにはシーズン當初よりが大切であると共に日頃の練習に重心を置き、進歩する事あつて退歩なき様にせねばなりません。

次に冬期の運動ですが本學では水泳以外の運動は行ひません室内プールで軽い練習をする程度で、これは來るべきシーズンへの準備運動位しか力を注ぎませんシーズン外には身體（關節）が固くなり易いので僅かの時間を利用して軽い體操してゐる位で、來るべきシーズンを待期してゐます。

時の刻みと共に本年シーズンも間近かに迫つて來ると共に本學水泳部の制覇の獲得も近き將來は現實に迫つてゐます。

「各校選手の愛校心何を以て是に價せん」

## ☆末弘會長と墓参り

末弘先生が體育功勞賞を貰つたので、聯盟の惡童連、一夜何かあつて然るべきだと、惡策を弄し、策成り遂げて先生の自宅に押かけ盛んにバクついたり飲んだりしてゐたが、先生の

話に「死んだ梅澤、石本、飯田が生きてゐたら、當然彼等が貰うべき功勞賞を私が貰つたので、私は功勞賞を貰つた其の足ですぐ彼等の墓参りをして來たよ。」

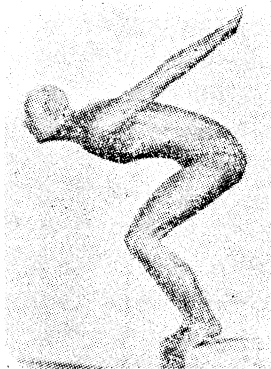
との言を聞き、惡童連中ホロリとして麥酒や御馳走が胸につかえて一時「食べ方飲み方止め」を餘儀なくされた。

## ☆不在者に口なし

支配人、支店長代理等々五ツ六ツの肩書を持つ小林高志氏、中學時代は手に負へぬ腕白者だつたらしく、退校になること四回餘り、皮肉にも當時の先生連を招き一夜の思出の會を催したが、

君みたいな有能の士をどうして退校處分にしたのかなといふ話から結局當時の生徒主事が一番悪いといふ事になつて話は結末をつけたが、随分愉快的話ではある。

# 昭和15年度 クラス選手



# 銓衡決定発表

## 日本水上競技聯盟

### ~~~~~ 競 泳 ・ 飛 込 ・ 水 球 ~~~~~

1. 本聯盟及各加盟團體の主催若くは公認せる競技會或は單獨競泳にして、各加盟團體より聯盟規約に従ひ聯盟本部に報告せられたる結果に就き其標準に従ひ銓衡するものとす。  
但臺灣、滿洲に於ける公認競技會記録は未公認プールに於けるものも公認プールに於けるものと同様に取扱ふ。飛込競技に於ては重要な競技會の成績により銓衡す。
2. 銓衡及クラス資格剝奪は競泳、飛込競技、競技委員會に於て行ひ、理事會の承認を経て發表す。
3. クラス選手たる資格は特別の事情（例へばアマター規定違反、水泳界引退、記録の極度の低下）無き限りは持續するものとす。
4. Aクラス選手は日本代表候補選手として日本水上競技聯盟主催の合同練習、合宿練習に参加する資格を有す

但し B, C クラス選手中よりも之を補充することあるべし。

5. 各クラス選手にはクラス章を授與す。但クラス更新の場合は舊クラス章と引換に新クラス章を授與す。（紛失其他に依る再交附の場合は實費を徴收す）。
6. 競泳クラス標準時間は下記の如し。  
短水路記録は長水路記録に換算す。但換算方法は折返し一回を増す毎に一秒を加算するものとす。
7. 飛込クラス標準は次の如し。（男女共通）

#### Aクラス

國際試合に於て優秀なる成績をあげ得る程度の者。

#### B クラス

國際試合に出場し得る程度の者。

#### C クラス

國內試合に於て相當の成績をあげ得る者。

### ~~~~~ 日 本 水 代 表 軍 銓 衡 規 定 ~~~~~

1. 日本選手權水球競技大會に於ける成績を銓衡の對象と爲し人格、技術、體格の優秀なる者を別に定むる所の銓衡委員會に於て銓衡し、理事會の承認を経て發表す。
2. 關東學生選手權水球リーグ戦、關西學生水球競技會に於ける成績を銓衡の參考資料とす、  
選出人員は二十名とす、

3. チームの呼稱は日本水球代表軍とす、
4. 毎年日本選手權水球競技大會直後編成換へを爲すものとす、  
（註）強化方法、試合出場選手の選抜、チーム成員をシーズン中所屬母體に戻すや否や其他チームの運用に關しては總てコーチに一任す。

| 種 目      | 男         |           | 子         |           | 女         |           | 子         |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|          | A<br>分秒以内 | B<br>分秒以内 | C<br>分秒以内 | C<br>分秒以内 | A<br>分秒以内 | B<br>分秒以内 | C<br>分秒以内 | C<br>分秒以内 |
| 100米自由形  | 58.0      | 60.0      | 63.0      |           | 1:10.0    | 1:15.0    |           | 1:20.0    |
| 200米自由形  | 2:12.0    | 2:15.0    | 2:22.0    |           |           |           |           |           |
| 400米自由形  | 4:45.0    | 4:55.0    | 5:07.0    |           | 5:40.0    | 6:00.0    |           | 6:35.0    |
| 800米自由形  | 10:00.0   | 10:20.0   | 10:45.0   |           |           |           |           |           |
| 1500米自由形 | 19:15.0   | 19:50.0   | 20:50.0   |           |           |           |           |           |
| 100米背泳   | 1:08.0    | 1:10.0    | 1:15.0    |           | 1:20.0    | 1:27.0    |           | 1:35.0    |
| 200米平泳   | 2:43.0    | 2:48.0    | 2:56.0    |           | 3:05.0    | 3:16.0    |           | 3:30.0    |

# 男子競泳

## 100米自由形

| クラス | 氏名    | 所屬   | 時間     | 前 |
|-----|-------|------|--------|---|
| B   | 遊佐正憲  | 日本   | 58.4   | C |
| B   | 新井茂雄  | 立大   | 58.8   | A |
| B   | 佐々本猛  | 日大   | 59.6   | B |
| C   | 本田武次  | 立大   | 1:00.8 | C |
| C   | 牧野兵庫  | 日大   | 1:01.2 | C |
| C   | 田口正治  | 滿洲電業 | 1:01.2 | B |
| C   | 吉田喜一  | 早大   | 1:01.4 | C |
| C   | 杉田芳郎  | 早大   | 1:01.6 | C |
| C   | 上藤憲三  | 廣島   | 1:01.6 | C |
| C   | 小柳清志  | 中京商  | 1:01.8 | C |
| C   | 平野亮平  | 臺北商  | 1:01.8 | C |
| C   | 伊藤輝   | 中京商  | 1:01.8 |   |
| C   | 大崎定兼  | 立大   | 1:02.0 | C |
| C   | 林田時夫  | 日大   | 1:02.0 | C |
| C   | 杉浦重雄  | 稻泳會  | 1:02.0 | C |
| C   | 太忠商勝  | 立大   | 1:02.2 | C |
| C   | 壺田重三  | 早大   | 1:02.4 | C |
| C   | 吉田實   | 關大   | 1:02.4 | C |
| C   | 小倉彌太郎 | 和商   | 1:02.6 | C |
| C   | 寺田登   | 慶大   | 1:02.6 |   |
| C   | 高尾龍實  | 三田水  | 1:02.8 | C |
| C   | 岡盛保   | 濱一中  | 1:02.8 | C |
| C   | 武智吉作  | 中京商  | 1:03.0 |   |

## 200米自由形

|   |      |     |        |   |
|---|------|-----|--------|---|
| B | 宮本茂  | 早大  | 2:13.8 | B |
| B | 新井茂雄 | 立大  | 2:14.0 | A |
| C | 後藤龍實 | 明大  | 2:16.8 |   |
| C | 遊佐正憲 | 日本  | 2:17.5 |   |
| C | 牧野兵庫 | 日大  | 2:17.6 | C |
| C | 太田光雄 | 中京商 | 2:18.4 |   |
| C | 鷺谷光明 | 日大  | 2:18.6 | B |
| C | 越戸優一 | 櫻泳會 | 2:18.7 |   |
| C | 杉田芳郎 | 稻泳會 | 2:18.8 | C |
| C | 佐々本猛 | 日大  | 2:18.8 | C |
| C | 伊藤輝  | 中京商 | 2:19.0 |   |

|   |       |     |        |   |
|---|-------|-----|--------|---|
| C | 河村甚平  | 名商  | 2:19.2 | C |
| C | 白山勝三  | 立大  | 2:19.8 | C |
| C | 小柳清志  | 中京商 | 2:20.2 | C |
| C | 中澤脩   | 慶大  | 2:20.4 | C |
| C | 園盛保   | 濱一中 | 2:20.8 | C |
| C | 松山正一  | 明大  | 2:20.8 |   |
| C | 本田武次  | 立大  | 2:21.0 | C |
| C | 杉浦重雄  | 稻泳會 | 2:21.0 | B |
| C | 長尾克巳  | 高知商 | 2:21.2 |   |
| C | 濱岡利彦  | 日大  | 2:21.4 | C |
| C | 岩田務   | 立大  | 2:21.6 | C |
| C | 小倉彌太郎 | 和商  | 2:22.0 | C |
| C | 枝元武夫  | 稻泳會 | 2:22.0 | C |
| C | 竹内定夫  | 東那商 | 2:22.0 | C |

## 400米自由形

|   |      |     |        |   |
|---|------|-----|--------|---|
| B | 宮本茂  | 早大  | 4:47.0 | B |
| B | 田中英作 | 稻泳會 | 4:50.6 | B |
| B | 津田國男 | 日大  | 4:51.6 | B |
| B | 本間俊夫 | 立大  | 4:54.0 | B |
| B | 後藤龍魚 | 明大  | 4:54.2 | C |
| C | 宇田守榮 | 稻泳會 | 4:55.6 | C |
| C | 天野富勝 | 日大  | 4:56.8 | B |
| C | 松山正一 | 明大  | 4:57.0 | B |
| C | 鷺谷光明 | 日大  | 4:57.8 | B |
| C | 河林甚平 | 名商  | 4:59.8 | C |
| C | 酒井孝一 | 岐商  | 5:00.8 | C |
| C | 竹内定夫 | 東邦商 | 5:01.2 | C |
| C | 枝元武夫 | 稻泳會 | 5:01.4 |   |
| C | 片山崇  | 慶大  | 5:02.0 | C |
| C | 栗原徹  | 日大  | 5:02.2 | C |
| C | 越戸優一 | 日大  | 5:02.4 | C |
| C | 太田光雄 | 中京商 | 5:02.4 |   |
| C | 村山修一 | 東邦商 | 5:02.6 | C |
| C | 鶴藤俊平 | 立大  | 5:02.8 | B |
| C | 長尾克巳 | 高知商 | 5:05.4 |   |
| C | 中澤脩  | 慶大  | 5:05.4 |   |
| C | 野並傳  | 高知商 | 5:05.8 |   |
| C | 古木惣一 | 白杵中 | 5:06.0 |   |
| C | 清原劍  | 三田水 | 5:06.0 |   |
| C | 伊藤憲利 | 日大  | 5:06.8 | C |

## 800 米 自由形

|   |       |     |         |   |
|---|-------|-----|---------|---|
| B | 津田國男  | 日大  | 10:11.0 |   |
| B | 天野富勝  | 日大  | 10:19.4 | A |
| C | 本間俊夫  | 立大  | 10:21.2 | B |
| C | 栗原徹   | 日大  | 10:23.4 | C |
| C | 松山正一  | 明大  | 10:25.6 | C |
| C | 酒井孝一  | 岐商  | 10:25.6 | C |
| C | 片山崇慶  | 大   | 10:25.8 | B |
| C | 竹内定夫  | 東邦商 | 10:28.6 | C |
| C | 宇田守榮  | 早大  | 10:32.4 | C |
| C | 田中英作  | 早大  | 10:36.8 | B |
| C | 長谷川黄一 | 早大  | 10:37.2 |   |
| C | 田村岩夫  | 關學  | 10:39.0 |   |
| C | 村山修一  | 和歌山 | 10:39.0 | C |
| C | 山下諭   | 廣島  | 10:42.0 |   |
| C | 越戸優一  | 日大  | 10:44.0 | C |
| C | 伊藤憲利  | 日大  | 10:44.7 | C |
| C | 岩切主立  | 立大  | 10:45.0 | C |

## 1500 米 自由形

|   |      |     |         |   |
|---|------|-----|---------|---|
| B | 津田國男 | 日大  | 19:31.6 |   |
| B | 田中英作 | 稻泳會 | 19:31.6 | B |
| B | 本間俊夫 | 立大  | 19:41.8 | B |
| C | 酒井孝一 | 岐商  | 19:51.6 |   |
| C | 竹内定夫 | 東邦商 | 19:56.2 | C |
| C | 村山修一 | 伊都中 | 19:57.2 | C |
| C | 越戸優一 | 日大  | 20:02.8 | C |
| C | 宇田守榮 | 早大  | 20:08.6 | C |
| C | 片山崇慶 | 大   | 20:17.6 | C |
| C | 夫野富勝 | 日大  | 20:20.0 | A |
| C | 松山正一 | 駿臺ク | 20:30.2 |   |
| C | 清原創三 | 田水  | 20:34.8 |   |
| C | 野並傳高 | 知商  | 20:40.8 |   |
| C | 田村昌久 | 松山商 | 20:47.0 |   |

## 200 米 平 泳

|   |       |    |        |   |
|---|-------|----|--------|---|
| B | 葉室鐵夫  | 日大 | 2:43.4 | A |
| B | 大浦誠一郎 | 立大 | 2:43.8 | B |
| B | 吉村喜代造 | 日大 | 2:47.2 | C |

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| B | 藤垣亮太郎 | 茨木中  | 2:47.8 | C |
| C | 鈴木重一  | 東邦商  | 2:50.4 | C |
| C | 提愛治   | 和商   | 2:51.4 | C |
| C | 古川敏   | 早大   | 2:52.0 | B |
| C | 田畑三郎  | 早大   | 2:52.8 | C |
| C | 田口實   | 日大   | 2:55.0 | C |
| C | 石原義輝  | 中京商  | 2:55.2 |   |
| C | 大林嗣生  | 早大   | 2:55.4 | C |
| C | 岩崎彖郎  | 慶大   | 2:55.4 | C |
| C | 吉田勇   | 川崎重工 | 2:55.8 | C |
| C | 田島俊雄  | 和商   | 2:56.0 |   |
| C | 中村平三郎 | 吳海兵團 | 2:56.0 | C |

## 100 米 背 泳

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| A | 吉田喜一  | 早大   | 1:08.0 | B |
| B | 兒島泰彦  | 慶大   | 1:08.8 | B |
| B | 谷口利弘  | 日大   | 1:09.8 | B |
| C | 中野太郎  | 稻泳會  | 1:11.4 | C |
| C | 平賀孟立  | 立大   | 1:12.6 | C |
| C | 河野通廣  | 日大   | 1:13.0 | C |
| C | 木間竹志  | 文理大  | 1:13.0 | C |
| C | 藤井敬次郎 | 濱一中  | 1:13.2 | C |
| C | 大野木弋  | 駿臺ク  | 1:13.2 |   |
| C | 西野泰正  | 高知城本 | 1:13.2 |   |
| C | 松本進   | 昭和製鋼 | 1:13.2 | C |
| C | 目代勝巳  | 川泳會  | 1:13.6 |   |
| C | 谷口五郎  | 稻泳會  | 1:13.8 | C |
| C | 野島宏   | 濱農蠶  | 1:14.2 |   |
| C | 稻垣達夫  | 名商   | 1:14.4 |   |
| C | 門屋桂立  | 立大   | 1:15.0 | C |
| C | 飯田旭明  | 明大   | 1:15.0 |   |
| C | 江口正人  | 關學   | 1:15.0 |   |

## 女子 競 泳

### 100 米 自由形

| クラス | 氏名    | 所屬   | 時間     | 前 |
|-----|-------|------|--------|---|
| C   | 藤田佳子  | 高知   | 1:16.0 | C |
| C   | 吉田つね子 | 女體專  | 1:16.8 | B |
| C   | 宅間美惠  | 大阪十合 | 1:16.8 | B |
| C   | 安富磨瑤子 | 京都   | 1:17.4 | C |

|   |       |       |        |   |
|---|-------|-------|--------|---|
| C | 旗野富美  | 東府四女  | 1:17.4 |   |
| C | 江間絢子  | 臺北一女  | 1:18.0 | C |
| C | 進藤玲子  | 第六ワカバ | 1:18.0 |   |
| C | 吉田ミチ子 | 吳精華女  | 1:18.2 | C |
| C | 高橋美代  | 魚津女   | 1:18.4 | C |
| C | 菅野和江  | 京都    | 1:18.4 |   |
| C | 三浦ハナ  | 横濱水協  | 1:18.4 | C |
| C | 佐野のぶ子 | 東府四女  | 1:19.4 | C |
| C | 立咲京子  | 成女高女  | 1:19.4 | B |
| C | 吉富敏子  | 臺灣    | 1:19.4 |   |
| C | 奥野峯子  | 静岡    | 1:19.6 | C |
| C | 田中松子  | 山口    | 1:19.9 |   |
| C | 中島芳子  | 愛知淑徳  | 1:20.0 |   |
| C | 小澤ハツ子 | 東府四女  | 1:20.0 |   |

### 400米自由形

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| B | 旗野富美  | 東府四女 | 5:52.0 | C |
| C | 三浦ハナ  | 横濱水協 | 6:04.6 | B |
| C | 松原弘子  | 東府四女 | 6:07.8 |   |
| C | 小澤ハツ子 | 東府四女 | 6:14.0 | C |
| C | 吉田ミチ子 | 吳精華女 | 6:14.4 |   |
| C | 宅間美恵  | 大阪十合 | 6:17.2 | B |
| C | 上村淳子  | 長崎   | 6:21.2 |   |
| C | 菅野和江  | 京都   | 6:21.8 |   |
| C | 井上恭子  | 廣島   | 6:24.5 |   |
| C | 柴田節子  | 愛知淑徳 | 6:25.4 |   |
| C | 綿貫秀子  | 廣島縣女 | 6:26.8 |   |
| C | 渡邊貞子  | 吳精華女 | 6:27.0 |   |
| C | 齋藤光代  | 久留米女 | 6:27.2 |   |
| C | 上村登志子 | 土佐子  | 6:27.8 |   |
| C | 吉富敏子  | 臺北一女 | 6:32.2 | C |

### 200米平泳

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| C | 後藤久子  | 臺北一女 | 3:17.4 | C |
| C | 川内公子  | 土肥女  | 3:17.4 |   |
| C | 河野典子  | 京都   | 3:18.2 |   |
| C | 天野主子  | 吳精華女 | 3:18.2 | C |
| C | 野中喜美子 | 東京   | 3:19.8 | C |
| C | 村尾康子  | 長崎   | 3:20.7 | C |
| C | 大川喜美子 | 京都   | 3:21.2 | C |
| C | 永田隆子  | 廣島市女 | 3:21.6 |   |

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| C | 小野キヌ子 | 福岡   | 3:21.9 | C |
| C | 三枝美貴子 | 日本女  | 3:22.2 | C |
| C | 蔭山美佐子 | 東府六女 | 3:22.6 | C |
| C | 和田町子  | 臺北一女 | 3:23.3 | C |
| C | 吉原冷子  | 臺北一女 | 3:23.4 |   |
| C | 伊藤桂子  | 愛知淑徳 | 3:26.4 |   |
| C | 堀部ツヤ子 | 愛知淑徳 | 3:27.2 |   |
| C | 牟田律子  | 臺北一女 | 3:27.3 |   |
| C | 大島糸子  | 長崎   | 3:27.8 |   |
| C | 八井田澄子 | 土佐女  | 3:28.2 | C |
| C | 星八重   | 横濱二女 | 3:29.4 |   |

### 100米背泳

|   |       |      |        |   |
|---|-------|------|--------|---|
| B | 金森志都子 | 廣島   | 1:27.0 |   |
| C | 佐野慶子  | 東京   | 1:28.8 | C |
| C | 飯島富子  | 古河瓦工 | 1:28.8 | C |
| C | 岩本茂子  | 廣島   | 1:29.1 | C |
| C | 伊藤さとし | 女子體  | 1:29.2 | B |
| C | 青島博子  | 中泉女  | 1:29.2 | C |
| C | 保手濱政子 | 土肥女  | 1:29.8 | C |
| C | 松林清子  | 高知   | 1:30.2 | C |
| C | 山根歌路  | 楠泳會  | 1:31.6 |   |
| C | 大澤ふさ  | 東府四女 | 1:32.4 |   |
| C | 山内次子  | 静岡   | 1:32.4 |   |
| C | 包行豐子  | 福岡   | 1:32.5 |   |
| C | 西田泰子  | 愛知淑徳 | 1:32.6 | C |
| C | 熊岡光枝  | 椋山女  | 1:33.2 |   |
| C | 北村文子  | 熊本   | 1:33.3 |   |
| C | 渡邊貞子  | 吳精華女 | 1:33.6 |   |
| C | 井上欣子  | 高知   | 1:33.8 | C |
| C | 有賀吉   | 京都   | 1:33.9 | C |
| C | 兼松淳子  | 長崎   | 1:34.2 |   |
| C | 久保和子  | 吳精華女 | 1:35.0 |   |

### 飛込

#### 男子

| クラス | 氏名   | 所屬 | 名 |
|-----|------|----|---|
| A   | 小柳富男 |    | A |
| A   | 柴原恒雄 |    | A |
| B   | 享濱武  |    | B |

B 久保欣治  
 B 瓶子喜巳  
 B 毛利元英  
 C 岩佐道雄  
 C 二井光雄  
 C 井上一夫  
 C 水原隆  
 C 矢野幸松  
 C 佐藤修正  
 C 奥田正勝  
 C 森英之一  
 C 橋本憲一  
 C 山本貞  
 C 山田一男

**女 子**

A 立松文子  
 A 光永和子  
 B 田中キヨ  
 C 木住野博子  
 C 保移美代子

B C 堀内圓  
 B  
 C  
 C  
 C  
 C  
 C  
 C  
 C  
 C

**水 球**

A 松本 椽 慶大 A  
 A 村本 司 朗 慶大 A  
 A 名取 正也 慶大 A  
 A 小野 四郎 早大 A  
 A 石原 正 慶大 A  
 A 西谷 彬 慶大 B  
 A 河原田 篤 慶大 A  
 A 奥田 精一郎 早大 A  
 A 岡田 平太郎 慶大 A  
 A 吉田 三郎 早大 B  
 B 豊島 大六 早大 A  
 B 飯田 壽平 早大 B  
 B 川田 和弘 日大 B  
 B 平野 亮 日大  
 B 壺田 重三 早大  
 B 山本 達男 早大 A  
 B 田口 實 日大

**女 子 水 泳 競 技 講 習 會**

健康と明朗性を水泳によつて捷ち得ませう。  
 そしてこの國家非常時に役立つ婦人となりませう。今年も又日本水上競技聯盟の御後援のもとに左記各種の講習會を開催し一層の水泳普及と技術の進歩を圖りたいと存じます。  
 講師及指導下さる方々は日本の水泳界の權威者でございます。  
 何卒奮つて御参加下さいませ。初心者も歓迎いたします。

昭和十六年二月

東京・神田・駿河臺一ノ八(電話神田一一一八一九)

主 催 東京基督教女子青年會 體育部  
 後 援 日本水上競技聯盟

講師 日本水上競技聯盟評議員 松澤一鶴氏 講師 同女子部委員 白山廣子氏  
 同 白山源三郎氏 同 野口徳子氏  
 同 飛込委員長 原秀夫氏 東京基督教女子青年會體育部主任 竹内菊枝氏  
 同 女子部委員長 磯野百男氏 同 幹事 横山糸子氏

指導 日本水泳競技聯盟女子委員一同

一、一般競泳 三月十八日—四月廿二日 毎週火曜日 午後四時—五時  
 一、飛込 三月廿四日—四月廿八日 毎週月曜日 午後四時—五時  
 一、有職婦人水泳 三月十八日—四月廿二日 毎週火曜日 午後六時半—七時半  
 講習費 各參圓 但シ有職婦人水泳 貳圓五十錢  
 體格検査 講習開始の前日までに體育部に於て體格検査を受ける事。  
 検査時間は毎日午後三時—八時迄(但土、日を除く)  
 申 込 意 YWCA・學院庶務受付にて申込み、會計にて券購入の事。  
 注 意 水着・タオル・石鹼は體育部備へつけのもの使用。  
 水帽子(ゴム帽子・丸帽子)は各自持參。

以 上

海

外

水

泳

情

報

## 小山賢之助編

### ○招聘決定せる獨洪水の精銳

日本水上競技聯盟は二月七日の代議員會に於て今夏開催せらるべき日本選手權大會に歐洲の精銳數名を招聘する事を議決した。大規模なる作戦を實施しつつある獨逸の事であるから水聯の指名通りの選手が果して來るかどうかは保證し難いが、獨逸大使館に對して水聯が招聘を依頼したのは次の五名である。

#### 1. ヨアヒム・バルケ君

先づ歐洲水泳界に於て日本と對等に戦ひ得る者として第一番に指を屈すべき者は平泳のバルケである。彼はもとブレーメン水泳協會所屬、現在は軍籍にあつてウイルヘルムスハーフェン海兵團に屬して居る。彼は一九三九年(昭和十四年)二月行はれたる獨逸冬季選權大會に於て短水路乍ら百米に 1:09.5

(當時歐洲竝に世界新記録)二百米に 2:37.4 (歐洲新記録—世界記録は米國のケズレー 2:37.2)を出して世界水泳界を瞠目せしめ、世界の第一線に進出して一九四〇年オリンピックには日本の葉室と共に有力なる優勝候補たるであらうと注目せらるるに至つた。同じく一昨年八月英獨對抗競技に於ては 2:40.4 と我が葉室君のみが出し得た世界長水路最高記録とタイして獨逸水泳界を驚喜せしめたのであつた。

昨年春海軍に入隊した彼は正規の練習を積み得ないにも拘らず、八月戦時戶外選手權大會に 2:43.6 を記録して葉室(昨選手權大會の記録 2:43.4)級の實力を常に保持する事を證明して居る。又昨年十一月室内シーズンの劈頭ライプツヒに於て行はれたる選手競技會に於ても同様ノートルレーンングを以つて

して 2:41.0(短水路)を記録する等、葉室君、大浦君に對しては不足のない好敵手である。筆者編纂の 1940 年度世界ランキング第二位である。

#### 2. ウエルナー・プラート君

伯林のアスカニア水泳俱樂部所屬、一昨年冬室内シーズンに於ては瑞典の雄ビヨルン・ボリーを向ふに廻して中長距離に花々しい活躍をして居たが五月頃不幸病魔の冒す所となり一昨年夏季シーズン中は現はれなかつた然るに、昨年夏見事にカムバックして百米から千五百米に至る自由形の全種目に獨逸第一位の記録を樹立して一躍オールラウンドスキムマーとしてその名を喧傳せらるるに至つた。昨年度に於ける彼の記録は百米 60.6 二百米 2:16.4 四百米 4:54.0 千五百米 19:57.4 であるから、日本の本田(立)後藤(明)村山(伊都中)の三君を一人で兼ねるといふ侮り難い泳手である。昨年度二百、四百共に第八位にランクせられる。

#### 3. ウリツヒ・シュレーダー君

ボン市ヒットラーユーゲント水泳俱樂部所屬の彼は本年漸く十八歳の若年である。彼の昨年の戶外シーズン中に於ける記録は左の通りで、何れもヒットラーユーゲントの順位第一位を占めて居る。

百米 1:02.2 二百米 2:21.0 百米背泳 1:11.1

自由形では中京商業の小柳君には及ばないが背泳としては我國では中等選手中之に匹敵する者が居ない、昨年百背泳世界ランキング第十位

#### 4. エルハルト・ヴァイス君

ドレスデンのプネチューン俱樂部所屬のヴァイスは恐らく現在の所高飛込、飛板飛込共に世界の最高水準にあるものと考へられる、一九三八年歐米兩大

陸對抗競技に於て米國のアル・パトニツクを破つて以來彼は單に獨逸第一のダイバーであるのみならず歐洲一の榮譽を擅にし一九四〇年のオリムピツクには美事優勝するであらうと迄で言はれて居た。彼の昨年度獨逸選手權大會に於ける得は高飛込 137.30 飛板飛込 168.23 であつて、獨逸の審判は可成甘いとは言ふもののその實力は我が柴原、小柳兩君と同等以上と思はれる。水聯飛込委員長原氏の熱烈なる要求に依り今回の招聘に加へる事とした。

### 5. フェルディナンド・タトス君

洪牙利 FTC 俱樂部所屬、之亦新進の選手であつて、昨年慧星の如く出現して、夏季シーズン初めの、洪牙利選手權大會に於て、八百米繼泳の歐洲記録のメンバーたるグロフ、同じく四百米繼泳のメンバー、ケレシー、エレメリを後へして 2:13.8 の好記録を以つて二百米自由形のタイトルを奪取して、伯林オリムピツク優勝者チツクの後繼者現はると洪水泳界を狂喜せしめた。其後彼は、長距離に独自の職域を見出して千五百米に瑞典のアルネボルグに次ぐ 19:37.4 の大記録を出して居る、之を日本に招いて千五百米を競はせるならば彼の進境は更に著しいものがあるであらう。

聞く所に依れば彼は昨年来指に負傷せる由にて今冬季シーズンは未だ泳いでは居ないが、一日も早く全快して、我日本に来る爲の基礎練習を始める様祈つて止まない昨年度は千五百米に世界第三位、二百米第四位、四百米第七位、百米第十位にランクされる。

### ○キープアーの世界記録失效

昨年二月、春泳の第一人者アドルフキープアーが百碼に五十七秒二、二百米に二分二十一秒七、四百米に五分十一秒九と三個の世界記録を作つた事は當時外電の報ずる所であつたが之は國際水泳聯盟の公認記録とはなつて居ない、之は全聯盟規約第三十八條第一項に「世界新記録を獲たる時は三週間以内に FINA 宛通知すべき事」とあるを無視して此の通知を怠つた事に原因するのであつて、AAU の怠慢の爲に世界記録を三個ムザムザと放棄したのは残念であると、米の水泳批評家ハンドレー氏は憤慨して居る。

### ○水の女王、ラングヒルト・ヴェーガー君

水泳七十六號の世界記録表中ヴェーガーの千米 14:09.2 千五百米 21:10.1 については FINA に於

て Pacemaker をつけたといふ理由でその公認に就き難色のあつた事は既報の通りであるが、此程ストックホルム外電に依れば右記録は FINA より正式承認方を拒絶せられた由である。従つて右種目は夫夫 14:12.3 1937—2—28 及び 21:45.7 1938—7—3 と訂正すべきである。

ヴェーガー嬢は昨年十二月十日を以つて滿二十年となるが右の二記録を除いても一九三六年から一九四〇年の五ヶ年間に實に三十六の世界記録を樹立したのであつて米國の嘗ての水の女王ヘレン・マヂソンを凌ぐ古今獨歩の超女子的存在である。彼女の二十回の誕生日を記念してその作つた世界記録を年代順に列挙すれば左の通りである。

#### 一九三六年(昭和十一年)五記録

|        |         |         |        |
|--------|---------|---------|--------|
| 440 碼  | 5:29.9  | コペンハーゲン | 二月二日   |
| 500 碼  | 6:14.8  | "       | 二月二日   |
| 500 米  | 6:45.7  | "       | 六月十四日  |
| 800 米  | 11:11.7 | "       | 七月三日   |
| 1000 米 | 14:35.6 | ヘルシンゲール | 八月二十三日 |

#### 一九三七年(昭和十二年)十一記録

|        |         |         |        |
|--------|---------|---------|--------|
| 400 米  | 5:14.2  | コペンハーゲン | 二月十日   |
| 200米背泳 | 2:41.3  | アーフス    | 二月十四日  |
| 850 碼  | 11:16.1 | ストックホルム | 二月二十八日 |
| 1000 米 | 14:12.3 | "       | "      |
| 300 米  | 3:50.1  | コペンハーゲン | 三月五日   |
| 400米背泳 | 5:44.5  | "       | 四月四日   |
| 500 碼  | 5:57.9  | アーフス    | 八月三十一日 |
| 400 米  | 5:14.0  | ゲント(白)  | 月三日    |
| 400 米  | 5:12.4  | マクデブルグ  | 十一月十四日 |
| 400 米  | 5:11.0  | コペンハーゲン | 十二月十二日 |
| 440 碼  | 5:12.8  | コペンハーゲン | 十二月十二日 |

#### 1938(昭和十三年)十三記録

|        |         |         |        |
|--------|---------|---------|--------|
| 300 米  | 3:48.8  | コペンハーゲン | 一月十六日  |
| 400 米  | 5:08.2  | "       | "      |
| 300 米  | 3:46.9  | アーフス    | 一月二十三日 |
| 400米繼泳 | 4:29.7  | コペンハーゲン | 二月八日   |
| 500 米  | 6:39.1  | "       | 五月一日   |
| 1500 米 | 21:45.7 | ヘルシンゲール | 七月三日   |
| 一哩     | 23:11.5 | "       | "      |
| 400 米  | 5:06.1  | コペンハーゲン | 八月一日   |
| 1000 碼 | 12:36.0 | ヘルシンゲール | 九月四日   |
| 200 米  | 2:21.7  | アーフス    | 九月十一日  |
| 300 碼  | 3:25.6  | コペンハーゲン | 十月二日   |



400米繼泳4:27.6 " 十月七日  
 220 碼 2:25.9 デュツセルドルフ十月廿六日  
 一九三九年(昭和十四年)三記録  
 100 碼 59.7 アーフス 二月十九日  
 500 米 6:34.3 コペンハーゲン 二月二十四日  
 220 碼 2:22.6 " 四月二十三日  
 一九四〇年(昭和十五年)四記録  
 500 米 6:27.4 コペンハーゲン 二月十一日  
 400 米 5:05.5 スペンドボルグ 九月八日  
 200 米 3:42.5 コペンハーゲン 九月十五日  
 400 米 5:00.1 " "

最近二ケ年間同嬢の樹立する世界記録が激減したのは歐洲大戰の影響を受けたものと解釋するの他はない。然し乍ら彼女の母國丁抹は、運動を文化政策の一として重要視し獎勵するヒットラーの治下に入つたのであるから今年の彼女の活躍は又大いに期待して可なりと信ずる。

#### ○女子百米平泳の世界記録舊大陸へ奪還せらる

昭和十四年十一月、南米のマリア・レンク嬢は二百米、四百米平泳に夫々 2:56.0, 6:15.8 の世界記録を作つて世界のタイトルを新大陸に齎して女子水泳界に一新紀元を劃した事は本欄でも報告したが右の中四百米は歐洲へ奪還せられた。昨年十一月五日和蘭のヨビーワールベルグ嬢(二百米歐洲記録 2:56.9 及び二百碼世界記録 2:40.3 の保持者)は五百米を 7:49.9 で泳破して、インゲ・セーレンセ嬢の保持する世界記録 7:58.8 を八秒九短縮した。この時の四百米に於ける途中時間は 6:16.8 であつて之は彼女の保持する和蘭記録 6:20.1 を破ると共に、セーレンセン嬢の保持する歐洲記録 6:16.2 及びマリアレンクの前記世界記録に肉迫する好記録であつた爲め、四百米にも世界記録を更新し得ると確信した同嬢は同月十二日獨逸の平泳選手ブツセ、カペル二嬢を介添として花々しく世界記録に挑戦した。

豫期に違はず彼女は百 1:28.0 二百 3:02.6 三百 4:38.9 の好ラツプを録しつつ遂に四百米に美事 6:13.7 の世界新記録を樹立した。

前週の五百米に於ける途中時間は百 1:27.9 二百 3:04.3 三百 4:40.5 四百 6:16.8 であつた。

然るに此の日介添役として出泳した獨逸のアンニ・カペル嬢はワールベルグ嬢の世界記録に刺戟せられ猛練習の結果遂に十二月十五日デュセルドルフに於て四百米を 6:13.2 で泳破してワールベルグの

世界新記録を更に○・五秒短縮した。彼女の途中時間は、百 1:26.3 二百 2:59.8 であつたといふから、始めから飛出して行く戦法をとれるももの如く將來有望といふべきである。十二月最終のシュヴァイマー誌上にはカペル嬢とペーガー嬢を共に寫した寫眞を掲げて、二世記録保持者と註してある。

斯く如く獨逸に於ては占領地域内の丁抹和蘭と獨逸の女子選手を一箇所に集めて共にその技の向上を計り屢々世界記録を樹立せしめんとするもの如く文化政策の一端としてのナチスのスポーツ政策は銃後の意氣を昂揚し、外國に對しては宣傳となり、國內に於ては體位向上に資するといふ一石三鳥をねらつたるものとして敬服の外はない。我國一部の者が徒に新體制を稱えて時局便乘に急なるあまり、選手制度を廢止し記録的向上を輕視せんとする傾向のあるのは筆者の心外とする所である。

#### ○ハンドレー編「紙上日米對抗」

米國の有名なる水泳批評家ハンドレー氏は筆者に宛てたる私信の中で一九四〇年に於ける日米のオリムピック種目三位迄の記録を集め、水泳池の長さ、其他による所要の修正を爲したる後たる後之を比較して紙上日米對抗ともいふべき左の表を發表した。

#### 百米自由形

|                 |      |
|-----------------|------|
| 1. オット・ジャレッツ(米) | 57.7 |
| 2. 遊佐 正憲(日)     | 58.4 |
| 3. ポール・ウォルフ(米)  | 58.8 |
| 3. 新井 茂雄(日)     | 58.8 |

#### 四百米自由形

|               |        |
|---------------|--------|
| 1. 宮木 茂(日)    | 4:47.0 |
| 2. 仲間 清(米)    | 4:48.4 |
| 3. 田中 英作(日)   | 4:50.6 |
| 4. ポール・ヘロン(米) | 4:51.4 |
| 5. 津田 國男(日)   | 4:51.6 |

#### 千五百米

|             |         |
|-------------|---------|
| 1. 仲間 清(米)  | 19:30.0 |
| 2. 津田 國男(日) | 19:31.6 |
| 3. 田中 英作(日) | 19:31.6 |
| 4. 木間 俊夫(日) | 19:41.8 |
| 5. 酒井 孝一(日) | 19:51.6 |
| 6. 仲間 文明(米) | 19:55.0 |

#### 百米背泳

|                  |        |
|------------------|--------|
| 1. アドルフ・キーファー(米) | 1:04.7 |
| 2. 吉田 喜一(日)      | 1:08.0 |

3. 兒島 泰彦(日) 1:08.9
4. 谷口 利弘(日) 1:09.8

### 二百米平泳

1. 葉室 鐵夫(日) 2:43.4
2. 大浦誠一郎(日) 2:43.8
3. リチャード・ハフ(米) 2:44.9
4. ジオン・ヒギンズ(米) 2:46.0

### 八百米繼泳

1. 米國チーム 8:58.8  
ジャレツ 2:12.3 ヘロン 2:15.4 キーフア  
ー 2:14.8 仲間清 2:15.7
2. 日本チーム 9:02.2  
宮本 2:13.8 新井 2:14.0 後藤 2:16.8  
牧野 2:17.9

結局選手権數(米)四對(日)二、個人種目 3.2.1. 繼泳 3.0. の得點にて計算すれば、(米)十六對(日)十七といふ結果になつて得點では略日米五角、選手権では斷然米國有利と判定される。

之に對して日本の我々としては次の如く反駁し度い。

イ、千五百米に於ける仲間の第一位は異論がある。即ち之は八百八十碼の記録 10:08.0 から千五百米を計算したもので實際に泳いだものと八百八十碼から推算したものととの差が僅か一秒六であつて見れば無條件には仲間の第一位を推すわけには行かない時恰も布哇より招聘を受けて居る。此種目の第一位決定は四月迄延期し度いと考へるが如何。

ロ、八百米繼泳に於ても日本には新井の 2:13.2 佐々木の 2:15.2 等の好記録があるか之らを合算して見ると 8:59.0 なつて米國チームと僅か〇・二秒の差となる。米國のは二百二十碼の記録を換算したものであるから之も亦必ずしも第一離される事は先位とは言ひ得ない。即ち選手権數に於て四對二と引づないと考へる。

それにしても他の數字は大體妥當と思はれるだけに、我國の水泳がロサンゼルス當時の如き飛抜けた地位にあると已惚れれる事は固く禁じなければならぬ。今年は布哇への遠征、歐洲選手の招聘等相當國際的に多忙な年を迎へんとして居る。選手諸君の御奮闘を祈ると共に、「油斷大敵」を座右の銘として戴き度い。

### 〇一九四〇年紙上オリムピツク

FINA 名譽主事ドナート氏の世界十傑表は各國の報告未着の爲に未だ完成を見ないが前項の紙上日米

對抗に次の資料を加へると世界十傑表が出来上る。但しドナート氏のと換算其他の關係全別然個な結果になる事を附記したい。

### 百米自由形

5. シェアメツト(米) 59.0
6. 佐々木(日) 59.6
7. ケレシー(洪) 59.8
8. リオン(米) 59.9
9. エレメリ(洪) 60.1
10. タトス(洪) 60.2

### 二百米

3. タトス(洪) 2:13.8
6. エレメリ(洪) 2:15.0
9. ベガチ(洪) 2:15.8

### 四百米

3. シーセツク(ユゴ) 4:48.8
7. タトス(洪) 4:53.5
8. プラート(獨) 4:54.0
9. 木間(日) 4:54.0
10. 後藤(日) 4:54.2

### 千五百米

3. タスト(洪) 19:37.4  
(仲間の第一位は認め難い)
7. 竹内(日) 19:56.2
8. プラート(獨) 19:57.2
9. 村山(日) 19:57.2
10. 越戸(日) 20:02.8

### 百米背泳

4. オリバー(濠) 1:09.7
6. ドナルドソン(米) 1:10.6
7. シェアメツト(米) 1:10.7
8. シモス(葡) 1:10.8
9. ドライスデール(米) 1:11.1
10. シュレーダー(獨) 1:11.1

### 二百米平泳

2. バルケ(獨) 2:43.6
5. セレール(ユゴ) 4:45.6
7. ファビアン(洪) 4:46.9
8. ゴルト(獨) 4:47.0
9. 吉村(日) 4:47.2
10. 藤垣(日) 4:47.8

何れによ、日本が現状以上に出ぬならば王座危しとて警報を出したく思ふのは豈に筆者のみの杞憂に過ぎないであらか。

### ○ヴェーガー第三十七回目の世界記録を作る

前項にて、丁抹のヴェーガー嬢が三十六個の世界記録を作つた事を報告したが、去る二月二日コペンハーゲンに於て、同嬢は四百米背泳に 5:38.2 といふ世界新記録を作つた。舊記録は和蘭のイダヴアン、フェゲレン嬢の 5:41.4 であつた。

### ○米國室内水泳シーズン開く

昨年度百米及び二百米自由形に於て世界第一位の實力を示した、オットー・ジャレッツ(市俄古タワーズ俱樂部所屬)は、本年壁頭、對ノースウエスト大學の對抗水泳大會に於て、五十碼を 23.8 百碼 52.6 をで泳破して、健在を示した。

尙米國室内シーズンの結果がボツボツと到着しつつあるが、記録は餘り香しくない、然し多數の無名の新人が出現しつつあるのは米國水泳界の將來を示唆するものとして興味深い。代表的な對抗試合の結果を抄録すれば左の通りである。

### ○ミシガン大學對紐育體育俱樂部

一月二十五日紐育體育俱樂部の二十五碼プールで行はれたが、四拾八對三十六でミシガンの勝利に歸した、前年度の全米室内選手權大會の覇者としてミシガン大學の好記録が期待せられたが、百碼に52.0 臺の實力を有すといはれ、前年度百米に第五位にランクせられるガス・シエアメットが、紐育のトーマスデルモットに破れるといふ番狂せありミシガンの低調は蔽ふべくもなかつた。一着記録左の通りである。

|        |        |                |
|--------|--------|----------------|
| 五十碼    | 24.0   | チャールズ・バーカー(ミ大) |
| 百碼     | 55.0   | トーマスデルモット(紐育)  |
| 三百二十碼  | 2:16.8 | ジョン・パツテン(ミ大)   |
| 四百四十碼  | 5:07.6 | パツテン(ミシガン大)    |
| 百五十碼背泳 | 1:40.6 | テッド・ノレンコ(同)    |
| 二百碼平泳  | 2:29.0 | スキナー(ミシガン大)    |

四百碼繼泳 3:41.4 ミシガン大學

三百碼混繼泳 3:03.0 ミシガン大學

### ▲エール大學對ペンシルベニア大學

キツフアスの率ゐるエール大學はペンシルバニア大學を六十六對九の大差を以て凱袖一觸に撃破してシーズンの初めを切つた。然し記録はあまりよくない。

|        |        |            |
|--------|--------|------------|
| 五十碼    | 25.2   | プルゲレ       |
| 百碼     | 57.2   | ゼームズ・シー    |
| 二百二十碼  | 2:18.8 | サンバーン      |
| 四百四十碼  | 5:13.5 | リチャード・ピーター |
| 百五十碼背泳 | 1:48.4 | ハワード・グレイ   |
| 二百碼平泳  | 2:40.6 | フェアハースト    |

### ▲ハーバード大學 62 ブラウン大學 13

|        |        |                |
|--------|--------|----------------|
| 百碼     | 53.4   | フランシス・パワーズ(ハ大) |
| 二百二十碼  | 2:15.5 | 同右             |
| 五十碼    | 23.9   | ロバート・シエイパー(ブ大) |
| 百五十碼背泳 | 1:41.3 | フリユツケル(ハ大)     |

### ▲エール大學 51 ライダー高校 24

|       |        |                |
|-------|--------|----------------|
| 五十碼   | 24.8   | ゼームズ・ベルタ(ラ大)   |
| 百碼    | 53.9   | エドワード・ポーブ(エール) |
| 四百四十碼 | 5:05.5 | ウイリアム・サンバーン(エ) |

### ▲エール大學 40 エール大學OB 26

|       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 五十碼   | 24.1   | リビングストーン  |
| 百碼    | 53.8   | ラツセル・ダンカン |
| 二百二十碼 | 2:17.3 | サンバーン     |

尙二月五日迄の室内シーズン中に相當の好記録を出した新人は右の如くである。

|           |              |       |        |
|-----------|--------------|-------|--------|
| ミカエル・プリアノ | 十六才(エラスマス中學) |       |        |
| 百碼        | 54.1         | 二百二十碼 | 2:15.8 |
| ジョン・パツテン  | ミシガン大學       |       |        |
| 二百二十碼     | 2:13.9       | 四百四十碼 | 5:06.6 |

## 指 定 席 券 發 賣

昭和五年神宮プール建設より早や十年の歳月が流れ今日に至りました。就いては指定席券も丁度昨年で満期となりましたので今回新ためて指定券を一般水泳愛好者に廣く開放する計畫を立案し着々準備致して居ります。皆様の御申込により先着順に優先的に御利用願ふ事と致しました何卒此意味に於て指定席券の優先的に御申込下さる事を御待ち申して居ります。

### 記

一、五ヶ年有効指定席券 金五拾圓也(税共)

一、四月中に御申込書を住所氏名記入の上御送り下さい。

一、本聯盟では申込書に基き指定席券引換證を御送り致しますから料金を引換證に添へて改めて御持参下さるか或は御便宜の方法で御送金下さい。

日本水上競技聯盟會長 末 弘 嚴 太 郎

---

---

# 戦争と



---

---

# 水泳

---

---

私が陸軍歩兵少尉として應召したのは昭和十三年の秋である、東京驛で窓から出す顔に何百の顔、何千の目は私の一点に集められて居る、その目、その顔の言はんとする處は唯一つである、お互に相通する電流が通つて居る様である、徐々に動き出す列車に感激の嵐はその極に達し、その目、その顔は何處までも私を追つて来る、此の感激で其の儘戦場に行つたなれば華々しい戦争と水泳の報告書が出来たかもしれない、残念な事には十ヶ月の補充隊生活で召集の幕は閉じて始末つた、只召集解除の直前数千の兵士に水泳教官としての地位に置かれた事が唯一の報告材料である。

大地に於ける野戦にはクリークが付きものである水泳人で文士型の者があつたなれば「水泳と兵隊」の一編が出て居る事であらうが、いまだにその聲を聞かない、河、クリークに對する戦闘には泳ぎの體得が必要である事はしばしば聞かされた事である、何も獨り泳ぎ渡つて一番乗りは昔時の事であらうけれども此度の戦場に於いては之に類する例も多いのである、水泳の爲めに奇蹟的な幸運に恵まれた話も耳にして居る。

私は三重縣に本籍があるので三重縣の歩兵聯隊に入隊した、今日行くか明日行くかが繰り返され繰り返され遂に同時應召の將校は殆んど全部野戦に征つて終つた、そして春を過ぎ夏になると、段々原隊凱旋の噂が確實性になり、遂に決定された、此處に補充隊解除となるや隊長は野戦に轉出、色々の意味を兼ねた會食の席で遂に水泳教官を命ぜられてしまつた。

隊長「市橋少尉が此の聯隊に居つて三重縣の兵隊で泳ぎを知らない者が居る事は残念な事である。一人残らず泳げる様にして欲しい」

市橋「學生時代はどうやら泳いで居りましたが現在では縁が遠く然も箱庭式で泳いで居つた者

は大海の泳ぎには不得手でありませぬ、教官としての資格がありません」

隊長「大陸の戦闘に於いて泳ぎは兵隊にとつて必要な事である最後の御奉公にやつて欲しい」

吾々補充隊の將兵は全部津市の二つの學校に宿營し凱旋部隊は屯營に入る事になつた、復員に付いては述べる事が出来ない、只補充隊下にあつた兵隊は或る期間泳ぐ事が最上の演習でもあり訓練でもあつた。先づ津中學校のプールを時間的に割當て泳がせる事にしたが何分にも人員が多いので泳げる者と泳げぬ者とを區別し更に助教、助手に適する者を區別して各大隊、各中隊の教官助教を決定した。

偶然にも東大水泳部に居つた近藤勇君が現役兵として入隊して居つたので泳ぎの見本には同君を利用した、プールでは全兵士に泳ぎをさせる事は中々の困難があるので愈々津の海岸で改めて游泳演習をする事になり大掛りの演習が行はれる事になつた。

隊の區域は十數町に及ぶ、午前、午後二回の演習には裸の勇士が二列に各大隊毎に整列、端から端まで顔も判らぬ程の人員で其の壯觀さはたとへ様がない。

毎日の日課は各大隊の教官を集めて本日の演習上の注意をする、そして實施、一日一日と泳げぬ者を亂暴に抜ふのである危険豫防の爲めに帽に色分けをし三本二本線入は教官(泳げぬ將校も含む)、泳げぬ者は赤、その他は一本線、と言つた程度、泳げぬ者一人に上達者一人を着け指導する事にした。私は海國日本の男子には泳げぬ者はないと信じて居つたけれども私の豫想を裏切つて三分の一は泳げぬ者であつた、然も三重縣は海岸に恵まれて居り乍ら此の程度である、一人でも泳げぬ者があつてはとの野戦に征かれた隊長に今日、又明日と毎日言はれたかの如く私の耳から離れなかつた一週間後に調べた結果は殆んど全部が水に浮く事が出来中には一町位は泳げ

る様になつた者もあり、相當荒い訓練には日一日と進歩の跡が現はれて來た。

此の期間中には私は召集解除となり、最後の御奉公を完了せずして此の游泳演習から離れなければならなかつた、演習隊長からは除隊しても當分來て下れないかと云ふ事であつたが「泳げぬ者が無い」、の目的を達したので直ちに歸京して終つた。

私は學生時代の水泳が應召して始めて役立つ事に大きな喜びを感じると共に此の訓練を受けて始めて水上日本を語り得る資格を持つた兵士が、戦地に征つて水泳に依つて直接に間接に御奉公の誠を果し得る事と思ふ時更に偉大なるものを感じる。

### 市橋滿之助

河童の水を離れたるは夫、龍の雲を失へるが如し去年三月奉天を立ち十月、半年振りに東京へ戻り今亦北支の野に皇軍の一員として非常の任に當つて居ります。此所に奇しくも鶴岡選手が伍長殿として居られたのであります水の上では何物も恐れぬ我々も事陸上動作に關しては全然手も足も出ぬ始末です、時折伍長殿の部屋に御邪魔して昔語りに耽つたり、或は……であります。過日談たまたま水聯に及び「オイ水泳を送つて來ねエなあ」「川田何とかしろよ」と伍長殿より命令されました、命令とある以上何事を措いても果すべきが下級者の務でありますので早速この手紙を出す次第何卒私をしてピンタを喰はさせ度くない御思ひなら今後發刊毎に鶴岡伍長殿宛御送り願ひたいものです。

まだ二ヶ月餘りでよく判りませんが兎に角運動で鍛へ上げた體力は斯様な場合非常に役立つ事を知りました、ではこの邊で失禮致します。

### 北支派遣 川田 稔

寒さなほ厳しき折皆々様には益々御壯健の御事と御喜び申上ます、降つて小生も相變らず元氣一杯軍務に勵み居ります故他事乍ら御放念下さい、此の度びは御多忙中にも拘らず「水泳」御送り下され非常になつかしく拜讀致しました、戦地で久し振りに讀んだうれしさは決して忘れられません、どうか皆様も御體を御大切になされ水泳日本の爲め御盡力下さらん事を御祈りして止みません、簡單乍ら御禮迄。

### 北支派遣 野村 正

大層永い間御無沙汰致しましたが皆様御變りもなく御活躍の事と存じます。

私も増々元氣、幸ひ未だ事故もなく張り切つて勤

務致して居ります故他事乍ら御放念下さい、さて私も去る五月より約六ヶ月間さる航空隊で訓練を積み、其の間戦地或は艦船に乗組んで帝國海軍の第一線の飛行機搭乗員として御奉公の出來ます日の一日も早く來らん事を願つて居りました處、今回その切望が叶ひまして左記の艦に轉勤に相成り去る〇〇月〇〇日、〇〇にて無事着任、時局愈々重大且つ多難の折柄、搭乗員としての責務愈々重且つ大なるを認識致し懸命に努力致して居ります故何卒今後共宜しく御指導鞭撻下さいます様御願ひ申上げます。先づは右取敢へず轉勤御通知迄、

日に日に寒さ加はります折から皆様呉々も御自愛の上御奮闘下さいます様祈り上げます。

### 〇〇局氣付、士官室 清水 康 男

勇躍、只今南の〇〇地に活躍して居ります。河津君、根來氏等大分近くに居る事を「水泳」で知つた竹林氏は二回程會ひましたがつい先頃歸還されました、濱商出の久保田君も同じ隊に居つたが歸られた私元氣に戦地の正月を迎へました新聞で未弘先生の事度々見て喜んで居ります。嚴寒の候皆様御元氣で

### 南支派遣 伊藤 少 尉

#### ☆中尉なりや伍長なりや

小林高志理事當人はレツキとした陸軍主計中尉なりと斷言するが、どうも眞實は伍長らしいといふ風評が近頃聯盟の中で頗る高まつて來た、噂の主はK・N氏だがK・N氏の言に依れば、小林氏の凡ゆる言葉を綜合してフロイドの原則に従つて判斷すれば、斷じて伍長なりとの結論が出て來るとのこと、編輯室も小林氏の名譽の爲に中尉説を採り度いが、その話を聞いていささか迷はざるを得ない節があ。

貴方は小林中尉殿ですか伍長殿ですかと面と向つて聞き訊す譯にも行かずこの問題で頭を相當悩してゐる次第である。

#### ☆スマートと兵隊

模範陸軍補充 一等兵藤田明氏日頃の精神が物を言つて特に隊長の許を得、神宮大會には遙々廣島から青年團の引率者として上京したが、でぶでぶだつた氏がすつかり贅肉が落ちすこぶるスマートになつて皆を驚ろかしたが、中でも何かの間違ひで未だに應召の思典に浴さないこれもでぶの松澤一鶴少尉、羨しがり、

あんなにスマートになるなら赤紙が來ても諦がつくとは一寸非國民的な言葉

# 定例代議



# 員會議事録

昭和十六年

二月七日 於丸ノ内中央亭本店

## 出席者

### 加盟團體代議員

|           |             |
|-----------|-------------|
| 岩手水泳協會    | 越戸 優一       |
| 宮城水泳協會    | 伊藤源一郎       |
| 福島縣體育協會   | 保谷 俊平       |
| 關東水泳協會    | 磯野 百男 大井 忠紀 |
| 橫濱水泳協會    | 須崎 秀夫 外川 正  |
| 松本水泳協會    | 兒玉 博 小林 高志  |
| 靜浦游泳協會    | 齋藤 享 佐藤 傑   |
|           | 新井 茂雄       |
| 濱名灣游泳協會   | 田上 泰        |
| 宮山體育協會    | 上市 徳        |
| 名古屋水上競技聯盟 | 原 留雄        |
| 三重水泳聯盟    | 拓植 清一       |
| 大阪水泳協會    | 杉本 傳 小山賢之助  |
| 兵庫縣體育協會   | 石田 恒信 板野龜八郎 |
| 香川縣體育協會   | 渡邊 延        |
| 和歌山縣體育協會  | 根來 幸成 田中 英作 |
| 廣島縣體育協會   | 吉本 弘 長久 俊三  |
|           | 高橋 弘        |
| 愛媛縣體育協會   | 深谷 俊明       |
| 徳島水上競技聯盟  | 久保義八郎       |
| 福岡水泳協會    | 葉室 鐵夫       |
| 朝鮮水上競技聯盟  | 武村 清        |
| 山口縣體育協會   | 齋藤 魏洋       |
| 群馬縣體育協會   | 松澤 一鶴       |
| 山梨水泳聯盟    | 樋口善久男       |

### 日本學生水上競技聯盟

|       |       |
|-------|-------|
| 横尾 清悟 | 小野 四郎 |
| 林 年松  | 上山 茂穂 |
| 小泉 一  |       |

### 日本水上競技聯盟

|       |       |
|-------|-------|
| 末弘巖太郎 | 田畑 政治 |
| 野田 一雄 | 本田 存  |

|       |       |
|-------|-------|
| 西木 龍三 | 野村 憲夫 |
| 佐々木 救 | 原 正一  |
| 白山源三郎 | 原 秀夫  |
| 笹島彦次郎 | 藤原 豊  |
| 遊佐 正憲 | 磯野 百男 |
| 松浦 武雄 | 内藤 徹  |
| 奥野 良  |       |

### 委任狀を提出せる加盟團體

|          |        |         |
|----------|--------|---------|
| 熊本體育協會   | 白杵體育協會 | 新潟縣水泳協會 |
| 會 高知體育協會 | 臺灣體育協會 |         |

### 缺席せる加盟團體

|           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 北海道水上競技聯盟 | 山形縣體育協會 | 茨城縣體育協會 |
| 千葉縣水泳聯盟   | 野尻湖游泳協會 | 石川縣體育協會 |
| 京都水上競技聯盟  | 松江體育協會  | 岡山縣體育協會 |
| 關東州體育協會   |         |         |

### 比島遠征立教軍歡迎會

(イ) 末弘會長歡迎挨拶  
(ロ) 齋藤監督の報告

### (一) 代議員會議事

1. 前回代議員會議事録確認の件
2. 役員改選の件

萬場一致を以て次の如く決定

(イ) 會長 末弘巖太郎  
(ロ) 名譽主事 田畑 政治  
(ハ) 名譽會計 奥野 良

### (二) 各部委員長

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 競 泳   | 遊佐 正憲           |
| 飛 込   | 原 秀夫            |
| 水 泳   | 笹島彦次郎           |
| 女 子   | 磯野 百男           |
| 小 學 校 | 内藤 徹            |
| 記 録   | 藤原 豊            |
| 編 輯   | 松浦 武雄           |
| 外 國   | 安部輝太郎(代表 小山賢之助) |
| 醫 事   | 笹島彦次郎           |
| 指導普及  | 加福均三(代表 竹村 公良)  |

測定 渡邊 貫(代表 深谷 俊明)

(ホ) 理事

日本學聯 横尾 清吾 大井 忠紀  
關東水泳協會 野田 一雄 大野 元美  
川田 俊之

其他加盟團體理事は田畑名譽主事に一任

(ヘ) 評議員

新に次の三代を追加決定

大橋國太郎 島崎 保正 大谷親之輔

3. 競技規定一部改正ノ件

(イ) 飛込

42. 43. 44. 50. 51. を改正する事に決し、詳細は理事會に一任

(ロ) 水球

公認審判員設置に決定、詳細は理事會に一任

4. 十六年度競技會日程決定

別項の如く決定す。

5. 事業計畫

(イ) ハワイ遠征の件

ハワイ大學學生協會より四月下旬招聘し度き旨通知アリ、依て事情許す限り遠征する事に決定す。

(ロ) 獨乙選手招聘の件

本年度選手權大會に次の選手を招聘する事に決し、川田氏より交渉經過に關し説明あり

自由形 プラート

平泳 バルケ

背泳 シュレーダー

及出來得べくんば洪國のタトス等招聘すること原飛込委員長より飛込のヴァイス君をも招聘したき旨希望あり

6. 海洋競技の件

日本學聯選手を積極的參加を促し之に對する援助をなすこと

7. 加盟權移讓の件

兵庫縣體育協會及廣島縣體協の加盟權を兵庫縣水泳協會、廣島水上競技聯盟へ夫々移讓の承認

8. 石本氏記念トロフキーの件

石本氏記念トロフキー設定する事に決し利用方法其他は理事會に一任

9. 聯盟事務所移轉の件報告

聯盟事務所は岸體育記念館に移轉する事に關

し、末弘會長より報告あり

10. 神宮水泳場指定席發行の件

本件に關し末弘會長より説明及此に對する各員の援助を希望する旨報告あり

11. 小學校教員聯盟の結成を促進すること

## 常務理事會議事録

十六年一月八日 於事務所

出席者 末弘 松澤 野村 野田 奥野  
深谷 大井 笹島 松浦 小山  
内藤 磯野 藤原 藤岡 原  
横尾

一、定例代議員會開催に關する件

(イ)會期 二月二日 午前十一時 於 中央亭  
の豫定

(ロ)提出すべき議案

(a) 役員改選

(b) 規約改正

(c) 事業計畫

獨洪或は米國選手を招聘する事を具體化すること

ラヂオ水泳の擴大強化を研究すること

右議題案は代議員會迄に適宜具體化すべく努力すること

二、文部厚生兩省の當事者と意見交換の協會を作ること

三、厚生省へプール建設鐵材配給請願書提出の件

### 常務理事會議事録

十六年一月十五日 於事務所

出席者 松澤、大橋、笹島、松浦、佐々木、大井  
深谷、内藤、小出、大野、藤岡、横尾  
保谷 遊佐 藤原 磯野 原

一、代議員會提出議題案

1. 水球

公認審判員設置ノ件

2. 飛込

規定飛種目變更の件

右各れも専門委員に於て案ヲ練り代議員會に提出する

3. 水泳年鑑に關する件

様式、内容變更に關し編輯委員に於て案を作成する

## 二、日本女子中等種目追加

本年度より二〇〇米自由形を追加することに決定

## 三、指定席券発行ニ關スル件

1. 五ヶ年繼續 五十圓とす
2. 發行事務は指定席券發行委員に於て行ふ
3. 發行委員次の如く決定

主任 野村

委員 野田、松澤、大橋、小山、大井

## 四、獨逸洪國選手招聘ニ關スル件

今夏日本選手權大會に獨乙及洪國競泳選手を招聘する事に關し、至急其具體的交渉に乗出すことに決す

1. 招聘委員に左記諸氏に委託す

主任 松澤 小山、原、川田、藤原

2. 近く訪獨する大島大使及チャムマーオーステン、ペーターズドルフ氏並に外務省觀光局等との交渉を至急具體化し指定席を一般に賣出す迄に目安をつけること

3. 之に關する費用は NSR 繰越金により支辨す
4. 若し獨乙より本招聘に次で日本選手の獨乙招聘を待望する意向ある時はこれに應ずる意向を傳へること

### 常務理事會議事録

十六年一月二十八日 於事務所

#### 一、代議員會期日變更の件

期日 二月七日 午後五時三十分 於中央亭  
立教選手歸朝歡迎會を兼ね

#### 一、本年度競技會日程を次の如く豫定す

### 昭和十六年度水上競技日程(豫定)案

|    |     |                       |    |
|----|-----|-----------------------|----|
| 自  | 五月  | 關東學生水球リーグ戦            | 神宮 |
| 至  | 六月  |                       |    |
| 六月 | 八日  | 早慶對抗水上競技大會            | 神宮 |
|    | 十五日 | 日、立、明、三大學對抗水上競技大會     | 神宮 |
|    | 廿二日 | 早、關對抗水上競技大會           |    |
|    | 同   | 日、立、明、關大對抗水上競技大會      |    |
|    | 同   | 東京、横濱、八王子三市女子對抗水上競技大會 | 神宮 |
| 七月 | 十六日 | 東部高商水上競技大會            |    |
|    | 十七日 | 明治神宮海洋競技團體長距離競泳大會     |    |
|    | 廿七日 | 關東女子中等學校水上競技大會        | 神宮 |
| 八月 | 一日  | 關東選手權水上競技大會           | 神宮 |

二日) 東部、中部、西部、中等學校水上競技大會

三日) 神宮、甲子園大濠

四日 全國師範學校水上競技大會 神宮

七日) 日本中等學校選手權水上競技大會

八日) 神宮

九日) 日本女子中等學校選手權水上競技大會

十日) 神宮

十日(午前) 第四回國民全國學童水泳大會 皆泳

十日迄ニ、日本選手權水上競技大會

十六日) 日本選手權水上競技大會 神宮

十七日) 神宮

十八日) 神宮

廿四日 日獨逸選手招待會 大阪

九月 七日 東京小學校水泳大會 神宮

十三日) 關東、東海、關西學生水上競技大會

十四日) 神宮、振甫、甲子園

十九日) 日本學生選手權水上競技大會 神宮

廿一日) 神宮

廿五日) 第十二回明治神宮國民體育大會水上競技大會

廿六日) 神宮

廿七日) 關東學生水球トーナメント戦(神宮)

廿八日) 大會に含めて行ふ) 以上

#### 一、師範大會の件

本年度より日本泳ぎを入れる(平泳、立泳横泳等)事に就き其具體的な打合せを木田氏と文理大當事者と打合せを行ふこと

#### 一、石木氏一周記念出版買入れに關する件

當聯盟として一〇〇部位を買入れることに決定

#### 一、獨逸選手招聘に關する件

當方の希望選手として左の四名を決定直ちに關係當局と交渉すること

バルケ、プラート、レユレーダー、クトス(洪)

### 常務理事會議事録

十六年二月五日 於事務所

出席者 松澤、田畑 野村 保谷 遊佐 笹島

大井 横尾 内藤 深谷 藤原 原

松浦 小山 川田

#### 一、ハワイ學生協會より招待に關する件

四月中旬選手數名を招待し度き旨申入ありたり當方として事情の許す限りそれに應ずることに決し、早速その詳細に關しハワイ當局と打合せを行ふことにする

#### 一、獨逸選手招聘に關する件

松澤氏及川田氏より經過報告あり

#### 一、代議員會提出議案檢討



一、師範大會の件

本年度より日本水泳法を競技種目中に追加し、本大會により指導者検定試験を兼ねること

理事會議事録

二月十九日 於事務所

理事會 出席者、田畑、奥野、川田、笹島、大井遊佐、坂上、根上、藤原、小山、竹村、大野磯野、横尾、葉室、内藤、佐々木

一、布哇遠征に関する件

a 電報にて<sup>人数</sup>種目に<sub>種目</sub>に関し確報を得る事

b 豫選會開催に関する件

人数種目期日を照會——返電の上豫選會開催の有無決定のこと

一、理事推薦の件

各加盟團體と連絡の上決定のこと

一、各部毎にスタッフ決定のこと(實行委員式)

一、獨逸選手招聘の件

川田氏より交渉経過報告あり

一、横須賀海兵團水泳師範派遣の件

齋藤氏依頼のこと

## 故石本巳四雄教授記念出版會趣意書

地震學に、音響學に幾多の貴重なる論文を發表せられ、又日本水泳の發展にも大なる貢獻をせられて、學界に、スポーツ界に巨大な足跡を残された故石本教授が其の輝かしい生涯を終へられてから早くも一年の月日が経ちましたが教授を惜しむの情は時と共に彌勝るものがあります。茲に故教授の一周忌に際し吾等有志相計り、故教授を記念する爲め左の事業を計畫しました。就いては諸賢に於かせられても此の計畫に御賛成御承諾下され度右願ます。

### 事業要概

- 一、諸賢が今後御所屬の機關雜誌に、地震學、音響學或はスポーツ科學等の論文を御發表の際故教授を記念するに應じきもの一編の紙型をお取りの上御送附願ふ事。但し紙型代は本會負擔の事。
- 一、右御題寄論文適當數に達したる時締切り、故石本巳四雄教授記念論文集として出版する事。
- 一、右出版費用御分擔願ひ度き事(一口金拾圓)御寄附申込締切は昭和十六年四月末日。出版の上は石本家に贈呈の外各位に一部宛御送附申上ぐる事。尙出版費用のみ御分擔下さるも可。
- 一、御寄附金額が出版費を超過したる場合に、超過金額の使途は實行委員に、御一任願ひ度き事。
- 一、昭和十七年二月四日に事業完了報告、會計報告を御送附申上ぐる事。
- 一、事務所は東京市本郷區本富士町一、東京帝國大學地震研究所内に置く。

尙御多忙中恐入りますますが事務の都合上急ぎますので發企人となる事の御諾否折返し御返事賜り度願上げます。

昭和十六年二月四日

故石本巳四雄教授記念論文出版會發企人有志

代表者 寺澤 寛 一

# 聯盟日誌



|    |     |                      |       |   |
|----|-----|----------------------|-------|---|
| 1月 | 8日  | 理事會                  | 事務    | 所 |
|    | 13日 | 飛込競技委員會              | 事務    | 所 |
|    | 14日 | 評議員會                 |       | 上 |
|    | "   | 競泳池公認委員會             | 事務    | 所 |
|    | 15日 | 常務理事會                | 事務    | 所 |
|    | 16日 | 學聯實行委員會              |       | 樂 |
|    | 20日 | 水球競技委員會              | 事務    | 所 |
|    | 21日 | 獨洪招聘委員會              | 事務    | 所 |
|    | 22日 | 編輯委員會                | 事務    | 所 |
|    | 23日 | 學聯實行委員會              | 事務    | 所 |
|    |     | 水泳誌 76 號、全國發送        |       |   |
|    | 24日 | 學聯總務委員會              | 朝日新聞社 | 亭 |
|    | 26日 | 日本學聯代表委員會            | 中央    | 亭 |
|    | 28日 | 水泳 77. 78 記録倍大號、全國發送 |       |   |
|    | 29日 | 理事會                  | 事務    | 所 |
|    | 31日 | 飛込競技委員會              | 事務    | 所 |
| 2月 | 4日  | 日本泳法委員會              | 事務    | 所 |
|    | 5日  | 理事會                  | 事務    | 所 |
|    | 7日  | 代議員會                 | 中央    | 亭 |
|    | 10日 | クラス章、發送              |       |   |
|    | 12日 | 女子部委員會               | 事務    | 所 |
|    | 13日 | 指定席發賣委員會             | 事務    | 所 |
|    | 17日 | 常務理事會                | 幸     | 樂 |
|    | 18日 | 學聯水球委員會              | 事務    | 所 |
|    | 19日 | 理事會                  | 事務    | 所 |
|    | 21日 | 小學校委員會               | 事務    | 所 |
|    | 26日 | 常務理事會                | 事務    | 所 |
| 3月 | 7日  | 小學校委員會               | 事務    | 所 |
|    | 8日  | 女子部委員會               | 事務    | 所 |
|    | 12日 | 理事會                  | 事務    | 所 |

日本水上競技  
聯盟機關雜誌

水 泳

第 79 號

昭和十六年 三月二十三日納本  
昭和十六年 三月二十五日發行

(日本水上競技聯盟代表)  
發行兼印刷人 田 畑 政 治

印刷所 大日本印刷株式會社  
牛込區市谷加賀町一の二

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥ 2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約は送料不要)

廣告料 35圓乃至10圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581  
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替口座東京三九九一九番

# 水 球 讀 本

水球に關する人達の必ず備ふべき書です。

—— 内 容 ——

水泳誌より拔萃編纂、新に簡易ルール及水球實施方法説明書、正しい競技を行ひ正しく審判するには本書に據らなければならない。

—— 目 的 ——

1. 初心者用、 2. 一般用、 3. 技術理論研究者用

定 價 60 錢 ..... 送 料 共

# 水 泳 年 鑑

昭和十六年度版水泳人の必讀必備の最高權威の書である。

—— 内 容 ——

(1) 日本水上競技聯盟規約 (2) 同競技規約(競泳規則)飛込競技規則、水球規則 (3) 競技規程細則(競泳池公認、記録公認十傑詮衡規定、水球飛込) (4) 標準泳法 (5) 水球指導者資格檢定規則 (6) 男、女子世界記録、日本記録變遷表 (7) 日本記録 (8) オリンピック記録 (9) 水泳十傑表其他 352 頁

定 價 70 錢 ..... 送 料 6 錢

|        |     |      |
|--------|-----|------|
| 水泳補助運動 | 定 價 | 25 錢 |
|        | 送 料 | 3 錢  |
| 標準泳法   | 定 價 | 15 錢 |
|        | 送 料 | 3 錢  |

申 込 方 法

宛 名 東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地  
丸ビル内 581 區

## 日 本 水 上 競 技 聯 盟

送 金 振替又ハ小爲替御利用ノ事  
振替口座東京三九九一九

# 疲勞恢復に 強力ビタミンB劑 オリザニン

—鈴木梅太郎博士發見—

米糠より抽出したるものにして  
合成品と自らその性能を異にす

**疲勞の原因** は糖分の分解に依つて生じた乳酸が體內に蓄積するからであると言はれて居る。

**ビタミンB** は乳酸の生成を防止すると共に過剰の乳酸を分解して疲勞の防止、恢復に顯著な奏效を見ることは實驗諸家の實證するところである。

従つてビタミンB劑の學界に於ける標準品たる**オリザニン**は疲勞倦怠感、衰弱感時の補給にその應用が推奨されて居る。

(粉末、錠劑、液、エキス、注射液)



東京市日本橋區室町 三共株式會社